

年 報

—平成 30 年度—

2019

大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM

はじめに

平成 30 年度大磯町郷土資料館年報を刊行いたします。

平成 30 年度に入り、平成 29 年度から公開が始まった旧吉田茂邸関連事業も 2 年目となりました。公開初年度は、観覧者数が 10 万人超を達した旧吉田茂邸ですが、2 年目に入ると来邸に落ち着きが見られ、事業としては安定した状態になったと評価しています。旧吉田茂邸の運営については、博物館機能を前提として、将来的に安定した運営を行っていくためには、さらなる付加価値を見出す必要があります。初年度から実施している「決断に特化した旧吉田茂邸独自イベント」は、その可能性の一つを探る事業でもあり、平成 30 年度は 5 つの行事を行いました。

郷土資料館は、開館 30 年を迎え、30 周年記念として企画展 2 本、ミニ企画展 1 本を行いました。また、明治 150 年として、大磯に展開した自由民権運動に注目し、激変する社会を支えた地域の功労者を紹介しました。いずれも地域の総合博物館として実施することができた、郷土資料館独自の企画でした。

旧吉田茂邸の運営については、まだ、模索が続いていますが、今後も地域の総合博物館として、郷土資料館の強みを活かした事業を進めてまいりますので、引き続き、当館の事業にご理解・ご協力をお願いいたします。

大磯町郷土資料館

目 次

〔事業報告〕

大磯町郷土資料館運営	4
・組織および職員	4
・協議会	4
・予算	5
・観覧者数	5
大磯町郷土資料館施設管理	6
・維持管理	6
・施設使用	6
旧吉田茂邸（郷土資料館別館）施設管理	6
・維持管理	6
・施設使用	6
大磯町郷土資料館学芸活動	7
・企画展	7
・ミニ企画展	9
・学級・講座	9
・地方史研究協議会研究例会	11
・博物館実習	11
・研究活動	12
・博物館資料の整備	12
・刊行物	13
・視察・見学対応	13
・取材対応	14
・ホームページを活用した情報発信	14
・博物館資料の収集、整備、利用	14
・文献資料収集状況	17
旧吉田茂邸（郷土資料館別館）学芸活動	19
・ミニ企画展	19
・藤沢市連携事業	20
・講座	20
・決断に特化した旧吉田茂邸独自イベント	21
・博物館資料の整備	22
・刊行物	23
・学校教育の施設利用	23
・視察・見学対応	23
・取材対応	24
・博物館資料の利用	25
学芸員の調査、研究、普及活動	25

〔研究報告〕

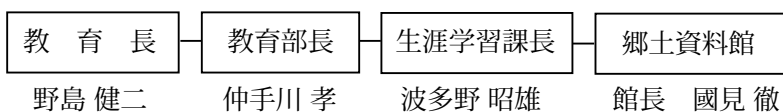
大磯地区に於ける本土決戦期の遺構調査Ⅱ	
市原 誠	30
「ワークショップ・石仏クラブ」調査報告	
― 旧国府町地域の石造物	
川邊 絢一郎	35

事業報告

大磯町郷土資料館運営

■ 組織および職員

<平成30年12月31日まで>



参事（歴史・文化担当）

佐川 和裕

参与（旧吉田茂邸担当）

柴田 明彦

副主幹／学芸員 北水 慶一
(-H30/7/31)

主任主事／学芸員 富田三紗子

主事 池田知與子

主事／学芸員 久保庭 萌

主事補／学芸員 川邊絢一郎

主事補／ 齋藤亜矢子

(H30/8/1-)

臨時職員／学芸員 鈴木 一男

臨時職員／学芸員 飯野 友紀

臨時職員／学芸員 鈴木 千津

臨時職員／学芸員 中原 園子

臨時職員／学芸員 伊藤 匠

(H30/7/1-)

臨時職員／学芸員 村田 聡美

(H31/1/4-)

臨時職員／司書 今井沙穂里

(H30/7/1-)

臨時職員／自然観察指導員

高山 優美

臨時職員 川下多恵子

臨時職員 佐藤 瑞香

臨時職員 鈴木 道子

臨時職員 名取 淳子

臨時職員 西田 裕子

臨時職員 花輪 弘枝

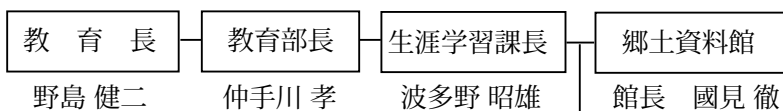
臨時職員 若栗 尊子

臨時職員 板垣 美穂

(H30/6/1-

H31/1/31)

<平成31年1月1日から>



参事（歴史・文化担当）

佐川 和裕

参与（旧吉田茂邸担当）

柴田 明彦

臨時職員／学芸員 村田 聡美

(H31/1/4-)

臨時職員／司書 今井沙穂里

(H30/7/1-)

臨時職員／自然観察指導員

高山 優美

臨時職員 川下多恵子

臨時職員 佐藤 瑞香

臨時職員 鈴木 道子

臨時職員 名取 淳子

臨時職員 西田 裕子

臨時職員 花輪 弘枝

臨時職員 若栗 尊子

臨時職員 板垣 美穂

(H30/6/1-

H31/1/31)

■ 協議会

<委員の構成>

- ・委員長／ 近藤 英夫（学識経験者）
- ・副委員長／ 西川 武臣（学識経験者）
- ・委員／ 柴田 紳一（学識経験者）
- 古川 元也（学識経験者）
- 秋山 実（学校教育関係者）
- 中島 美江（社会教育関係者）
- 山本 圭子（社会教育関係者／～平成30年9月30日）
- 大倉 祥子（観光関係者）
- 曾根田玲子（観光関係者）
- 上野 広子（社会教育関係者／平成30年10月1日～）

<協議会の開催>

- ・第1回／平成30年8月21日 議題1 平成29年度事業報告について
議題2 平成30年度事業進捗状況について
- ・第2回／平成30年11月30日 議題1 平成30年度事業進捗状況について
- ・第3回／平成31年3月19日 議題1 平成30年度事業進捗状況報告について
議題2 平成31年度事業計画について

■ 予算

<当初予算の推移>

年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
金額	46,587 千円	200,095 千円	512,125 千円	147,274 千円	84,551 千円	98,941 千円

<平成 30 年度歳入決算額（一部のみ）>

・旧吉田茂邸観覧料	28,345,800 円	・吉田茂関連製品売上代	316,000 円
・旧吉田茂邸刊行物売上代	387,500 円	・郷土資料館刊行物売上代	340,370 円

<平成 30 年度歳出決算額>

事業	郷土資料館 運営事務事業	郷土資料館 維持管理事業	郷土資料館 学芸活動事業	教育普及・ 企画展事業	
金額	2,325,204 円	10,361,328 円	2,496,518 円	1,513,239 円	
事業	旧吉田茂邸 運営事務事業	旧吉田茂邸 維持管理事業	旧吉田茂邸 学芸活動事業	旧吉田茂邸 研修等事業	計
金額	23,594,075 円	7,703,874 円	2,347,396 円	315,539 円	50,657,173 円

□職員給与（6 人分） 38,189,354 円 ■歳出合計 88,846,527 円

■ 観覧者数

<郷土資料館観覧者数の推移>

単位：人、日

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	累計（昭和 63 年～）
入館者数	30,335	25,673	17,862	35,826	28,900	959,968
1 日平均/ 開館日数	102 / 296	91 / 283	149 / 120	122 / 294	97 / 299	112 / 8,601

※平成 28 年度は平成 28 年 11 月 2 日まで展示リニューアル工事のため休館

<郷土資料館の月別観覧者数>

単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
入館者数	2,574	4,101	1,849	1,408	1,679	1,657	
1 日平均	99	152	74	57	65	67	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入館者数	3,909	3,427	1,716	1,712	2,183	2,685	28,900
1 日平均	157	137	75	74	95	103	97

<旧吉田茂邸（郷土資料館別館）の月別観覧者数>

単位：人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
観 覧 者 数	大人（個人）	4,559	6,366	2,986	1,649	1,447	2,094	
	大人（団体）	1,588	3,174	1,587	953	306	701	
	中学生・高校生 （個人）	47	45	10	10	45	11	
	中学生・高校生 （団体）	2	0	0	0	0	0	
	小学生以下	79	281	54	38	116	70	
	障がい者/介護者	236	307	126	53	63	171	
	減免対象者	169	56	108	85	61	161	
計	6,680	10,229	4,871	2,788	2,038	3,208		
1 日平均	267	379	195	112	79	129		
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
観 覧 者 数	大人（個人）	4,106	5,553	2,508	2,461	2,638	3,454	39,821
	大人（団体）	2,664	3,296	1,183	498	1,465	1,141	18,556
	中学生・高校生 （個人）	20	25	23	18	17	65	336
	中学生・高校生 （団体）	0	0	0	0	34	0	36
	小学生以下	69	65	38	56	48	73	987
	障がい者/介護者	151	257	112	97	99	126	1,798
	減免対象者	155	47	81	32	150	59	1,164
計	7,165	9,243	3,945	3,162	4,451	4,918	62,698	
1 日平均	287	370	172	137	194	189	210	

大磯町郷土資料館施設管理

■ 維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託／(株)湘南県央サービス
- ・警備委託／(株)全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／ダイコー(株)横浜営業所
- ・敷地管理委託／(財)神奈川県公園協会
- ・空調機器給水設備保守委託／扶桑工業(株)
- ・自家用電気工作物保守委託／荻野電気管理事務所
- ・消防用設備保守委託／(株)足柄防災 大磯営業所
- ・自動ドア保守委託／(株)神奈川ナブコ 厚木支店

<修繕>

- ・蛍光灯修繕／(株)丘電機
- ・ガラス修繕／(有)相模屋ガラス
- ・エントランス空調機修繕／扶桑工業(株)
- ・1階事務室水漏れ調査・修繕／扶桑工業(株)
- ・玄関支柱塗装修繕工事／(株)川邊塗装工業
- ・第1収蔵庫床修繕工事／匠建設(株)
- ・昇降機シリンダーパッキン交換工事／ダイコー(株)
- ・昇降機停電管制用バッテリー及び非常灯用バッテリー装置交換工事／ダイコー(株)
- ・排煙窓・ハンドルボックス交換工事／(株)足柄防災
- ・園内灯不点修繕／(株)興電社

■ 施設使用

<施設使用月別件数>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研修室	9	12	11	9	12	4	14	5	5	8	5	9	103

旧吉田茂邸（郷土資料館別館）施設管理

■ 維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託／高橋産業(株)
- ・警備委託／(株)全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／(株)日立ビルシステム 横浜支社
- ・空調機器給水設備保守委託／扶桑工業(株)
- ・消防用設備保守委託／モリタ宮田工業(株)
- ・敷地管理委託／(財)神奈川県公園協会

<修繕>

- ・障子張替工事／円徳建工(株)

■ 施設使用

<施設使用月別件数>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全館	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
和室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金の間	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
食堂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修室	2	1	3	1	2	1	1	0	0	0	3	2	16

<全館使用>

- ・大磯町教育委員会生涯学習課／平成30年5月21日(月)／明治150年特別企画「カンカラ三線 演歌師岡大介トーク & ライブ」開催
- ・(株)ロクビー／平成30年6月18日(月)／コマーシャル用の動画撮影

大磯町郷土資料館学芸活動

■ 企画展

開館 30 周年記念企画展<第 1 弾>

「大磯町郷土資料館 30 年間の軌跡—大磯町の博物館活動を振り返る—」

期 間／平成 30 年 4 月 28 日（土）～6 月 10 日（日）

開場日数／37 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 150 点

料 金／無料

観覧者数／5,403 人

趣 旨／平成 30 年 10 月 25 日に開館 30 年を迎えるにあたり、30 周年記念の企画展を 2 回行う。本企画は 1 回目として、郷土資料館の 30 年間の活動を振り返ることを目的として、準備期間を含めた開館当時の様子から、地域博物館としての活動内容、収蔵資料の特徴を、考古、歴史、民俗、自然科学の分野ごとに紹介する。

内 容／「郷土資料館の開館」、「郷土資料館の収蔵資料」、「郷土資料館 30 年のあゆみ」の 3 つの小テーマで展示を展開した。

(1) 郷土資料館の開館

郷土資料館の前身にあたる郷土資料室から開館準備、開館当時の様子を写真などによって紹介した。

(2) 郷土資料館の収蔵資料 ～地域のお宝は、コレ！

考古、歴史、民俗、自然科学の収蔵資料を紹介した。それぞれの資料の特徴を、地域のお宝としてアピールした。

(3) 郷土資料館 30 年の歩み ～地域博物館の活動とは？

30 年間の出来事を年表で紹介し、地域博物館の活動の意義を伝えた。特に民俗に親しむ会の活動を紹介することによって、博物館資料の整理方法を紹介した。

(担 当) 富田・國見・北水・久保庭・川邊



開館 30 周年記念企画展<第 2 弾>

「O I S O ～(海+山)×人～」

期 間／平成 30 年 7 月 14 日（土）～9 月 2 日（日）

開場日数／42 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 110 点

料 金／無料

観覧者数／2,663 人

趣 旨／平成 30 年 10 月 25 日に開館 30 年を迎えるにあたり、30 周年記念の企画展を 2 回行う。本企画は 2 回目として、考古、歴史、民俗、自然の 4 分野が連携し、大磯の動植物や生態系と人々の営みとの関係について、高麗山と照ヶ崎を例として紹介する。

内 容／「高麗山」、「照ヶ崎」の 2 つの小テーマで展示を展開した。

(1) 高麗山

高麗山の自然と人の営みを、写真パネルや各分野の資料により紹介する。自然史から歴史、民俗へ、通史的な観点を持って展示を行う。

(2) 照ヶ崎

照ヶ崎の自然と人の営みを、写真パネルや各分野の資料により紹介する。民俗から歴史、自然史へ、通史的な観点を持って展示を行う。

(担 当) 富田・國見・北水・久保庭・川邊



明治 150 年企画展

「明治の功労者—湘南社の活動と近代地方行政—」

期 間／平成 30 年 10 月 13 日（土）～ 12 月 9 日（日）

開場日数／ 48 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 80 点

料 金／無料

観覧者数／ 6,733 人

趣 旨／明治 150 年を記念して、大磯と周辺地域に展開した自由民権結社・湘南社の活動を紹介し、運動に参加した人たちのその後を追いつつ、実際に誕生した近代化された地方行政を、旧町村役場文書を紹介することによって考察する。

内 容／「湘南社と大磯」、「湘南社参加者のその後」、「近代地方行政の始まり」の 3 つのテーマで展開する。

(1) 湘南社と大磯

湘南社は大磯に拠点が置かれ、その活動には後に大磯町の初代町長となる中川良知や、大磯小学校の校長となる朝倉敬之など、地元の名士たちが参加した。湘南社の活動を、雨岳文庫が所蔵する資料を中心に紹介する。

(2) 湘南社参加者のその後

湘南社の活動に参加した者のその後を追ひ、旧大磯町や国府村でどのような活躍をしたか紹介する。

(3) 近代地方行政の始まり

明治 22 年（1889）に町村制が施行され、現在の大磯町につながる旧大磯町と国府村が誕生した。湘南社の活動に参加した人たちが携わった近代化された地方行政とはどのようなものだったのか、町村役場文書を展示することによって紹介する。

【関連行事】

講演会「湘南社の活動と雨岳文庫について」

日 時／平成 30 年 11 月 10 日（土）14 時～ 16 時

会 場／郷土資料館 研修室

講 師／野崎 昭雄 氏（公益財団法人雨岳文庫代表理事）

参加人数／ 41 人

内 容／湘南社結成のきっかけになった県内の国会開設請願運動を含め、湘南社や湘南講学会の活動に関する講演を行った。

講演会「湘南社社長山口左七郎と近代の幕開け」

日 時／平成 30 年 11 月 24 日（日）14 時～ 16 時

会 場／郷土資料館 研修室

講 師／渡辺 尚志 氏（一橋大学大学院教授）

参加人数／ 54 人

内 容／湘南社の社長を務めた山口左七郎について、名主家の当主という地域のリーダーとしての立場から考察する講演を行った。

展示解説

日 時／〔第 1 回〕平成 30 年 10 月 28 日（日）、〔第 2 回〕11 月 18 日（日）いずれも 14 時～ 14 時 30 分頃

会 場／郷土資料館 企画展示室

参加人数／〔第 1 回〕 17 人、〔第 2 回〕 41 人

内 容／担当学芸員が企画展示の内容を 30 分程度で解説した。
（担 当） 富田・久保庭



■ ミニ企画展

ミニ企画展「チラシで振り返る企画展 30年」

期 間／1回目：平成30年4月28日(土)～5月31日(木)

2回目：平成30年6月2日(土)～7月31日(火)

3回目：平成30年8月2日(木)～9月27日(木)

開場日数／128日間

会 場／大磯町郷土資料館 廻廊

出品点数／約85点

料 金／無料

観覧者数／11,009人

趣 旨／平成30年10月25日に開館30年を迎えるにあたり、30周年記念として、今までに開催した企画展等のチラシやポスターを紹介し、郷土資料館の30年間の活動を振り返る。

内 容／30年間の約10年ごとに分け、3回にわたってチラシやポスターを展示する。

1回目：開館から10年目頃までのチラシ及びポスターを紹介する。おおよそ、特別展、企画展で分類し、時系列で並べる。「なつかしの風景」の展示は、シリーズとしてまとめて紹介する。

2回目：10年目から20年目頃までのチラシを紹介する。原則的に企画展の開催順に並べる。

3回目：20年目から現在までのチラシを紹介する。原則的に企画展の開催順に並べる。

(担 当) 富田・久保庭



■ 学級・講座

<古文書裏打クラブ>

期 日／平成30年4月21日(土)、5月19日(土)、6月16日(土)、7月21日(土)、8月18日(土)、9月22日(土)、10月20日(土)、11月17日(土)、12月22日(土)、平成31年1月19日(土)、2月16日(土)、3月16日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／鶴飼レイ子氏、中村ふぢ氏、吉原悦子氏

参加人数／延88人

内 容／裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵している古文書の裏打ちを行うワークショップ。博物館資料の整理というボランティア的な性格をもつ活動として位置づけ、平成16年度から継続している。活動内容は、昨年度に引き続き、襖に下張りされていた古文書の資料化を進めた。

(担 当) 富田・伊藤

<古文書解読クラブ>

期 日／平成30年4月7日(土)、5月5日(土)、6月2日(土)、7月7日(土)、8月4日(土)、9月8日(土)、10月6日(土)、11月3日(土)、12月8日(土)、平成31年1月5日(土)、3月2日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

参加人数／延100人

内 容／郷土資料館が所蔵する古文書を会員と共に解読することにより、大磯の歴史を学び、古文書資料の活用を図ることを目的として、平成24年度から毎月第一土曜日を原則として活動を始めた。町指定文化財である大磯宿小島本陣資料の休泊帳を解読し、翻訳文を刊行することを目指している。また、引き続き、会員有志で毎週金曜日の活動を行い、大正期の大磯町の助役日誌を解読している。今年度は新規会員を5名募集し、3名が入会した。

(担 当) 富田・伊藤



<写真整理クラブ>

期 日／平成30年4月29日(日)、5月13日(日)・27日(日)、6月10日(日)・24日(日)、7月15日(日)・29日(日)、8月12日(日)・26日(日)、9月16日(日)・30日(日)、11月11日(日)・25日(日)、12月2日(日)・16日(日)、平成31年1月13日(日)・27日(日)、2月10日(日)・24日(日)、3月10日(日)・24日(日)

場 所／郷土資料館 研修室

参加人数／延81人

内 容／郷土資料館が所蔵する写真を会員と共に整理し、資料の活用を図ることを目的として、平成 28 年度から毎月第二、第四日曜日を原則として活動を始めた。活動内容としては、『広報おおいそ』担当者が撮影した写真のフィルムをスキャンし、デジタル化した。また、必要に応じてフィルムの清掃を行った。今年度は、ネガフィルム全 27 冊の内、3 冊目(資料番号 N3)までのフィルムをデジタル化した。

(担 当) 富田・伊藤



<石仏クラブ>

期 日／平成 30 年 4 月 7 日(土)、5 月 19 日(土)、6 月 2 日(土)、7 月 7 日(土)、8 月 4 日(土)、9 月 1 日(土)、10 月 6 日(土)、11 月 3 日(土)、12 月 1 日(土)、平成 31 年 1 月 19 日(土)、2 月 3 日(日)、3 月 2 日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

参加人数／延 34 人

内 容／本町では、過去に石造物の悉皆調査を実施し、その成果を大磯町文化財調査報告書(「石造物調査報告書」(1)～(7)、昭和 59 年～平成 7 年)としてまとめている。調査後、かなりの年月が経過しており、既に盗難、破損、移動、新設された石造物も少なくないことから、報告書をもとに所在調査を兼ねて町内石造物を訪ね、学び、楽しむ機会とし、そして、このことが地域の文化的資産としての石仏(石造物)について一層の関心を高め、保護保全への動機付けにつながることを期待して平成 23 年度に開始した。リニューアル事業等他の事業との兼ね合いから、平成 27 年度から一時休止としていたが、平成 29 年 10 月から再開した。本年度は、旧国府町地区の調査を実施した。

(担 当) 川邊

<大磯自然観察会>

期 日／平成 30 年 4 月 28 日(土)、5 月 12 日(土)・26 日(土)、6 月 9 日(土)・23 日(土)

場 所／神奈川県立大磯城山公園

参加人数／延 55 人

内 容／本ワークショップは、植物の調査を通して植物に関する知識を深めるとともに身近な自然に親しむことを目的に平成 11 年度に活動を開始した。これまでに第 1 次調査 秋の植物分布調査〔平成 11 年度・12 年度〕、第 2 次調査 県立大磯城山公園の植物調査〔平成 13～17 年度〕、第 3 次調査 星槎湘南大磯キャンパス(万台こゆるぎの森)の植物調査〔平成 18～20 年度〕、第 4 次調査 大磯運動公園と周辺地域の植物調査〔平成 21～28 年度〕を実施してきた。平成 29 年度より、旧吉田茂邸が一般公開されたことを契機として、調査対象地域を県立大磯城山公園に変更した。本年度、県立大磯城山公園でも旧吉田茂邸地区を中心に調査を行っている。

(担 当) 北水・中原

<海の教室>

① 磯の生き物観察会

期 日／平成 30 年 6 月 17 日(日)

場 所／大磯町照ヶ崎海岸

講 師／福田 良昭氏(相模貝類研究談話会会長)

参加人数／31 人

② 楽しい海藻おしばづくり

期 日／平成 30 年 7 月 25 日(水)

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／高山優美(当館臨時職員)、長島美保(海の森クラブ会員)

参加人数／32 人

内 容／特定の学問分野にかかわらず「海」をテーマに様々なことを体験し、楽しみながら海岸環境や海産生物についての知識を深めることを目的に平成 12 年度から実施している。平成 30 年度は生き物観察を中心に 2 種類の講座を実施した。楽しい海藻おしばづくりについては 7 月 25 日に実施し、夏休みの自由研究に活用できる内容と好評を博した。

(担 当) 北水・高山



■ 地方史研究協議会研究例会

地方史研究協議会 2017 年度第 7 回研究例会・第 69 回（神奈川）大会関連例会

「近世社寺日鑑の書誌的検討―藤沢山日鑑を中心に―」

開催日／平成 30 年 8 月 5 日（日）

場 所／郷土資料館 研修室

共 催／地方史研究協議会

講 師／酒井麻子 氏（藤沢市文書館）

参加人数／13 人

趣 旨／地方史研究協議会の大会が神奈川県で行われることを機会に、研究例会を郷土資料館において開催し、一般に公開する。

内 容／藤沢山日鑑に関する研究報告を行い、郷土資料館の展示見学を行った。

（担 当） 國見

■ 博物館実習

平成 30 年度は 1 大学より 1 名の学生を受け入れた。実習期間は 9 月 4 日から 9 月 15 日の間（9 月 9 日・10 日を除く）及び 7 月 27 日（事前ガイダンス）、9 月 28 日（課題等提出）の計 12 日間とした。

実習課程は、例年のとおり、1 週目に資料整理などの実務的な作業、2 週目に企画から列品までを行う展示作業とした。展示作業では、常設展示室の一角に設けた民具マンスリー展示コーナーの展示替えと、当館の廻廊において掲示している指定文化財紹介ポスターの作成を行った。

<実習生>

高田彰太朗（駒澤大学）

<課程>

月日	曜日	午前	午後
7 月 27 日	金		ガイダンス／館内見学
9 月 4 日	火	講義（博物館活動の概要）	企画展示の撤去／ポスター展示の調査
9 月 5 日	水	民俗資料の整理	資料梱包／特殊資料の取り扱い／展示替実習打ち合わせ
9 月 6 日	木	旧吉田茂邸受付業務	写真資料整理
9 月 7 日	金	資料梱包	資料梱包／特殊資料の取り扱い
9 月 8 日	土	講義（教育普及活動の概要）	古文書解読クラブに参加／ポスター展示の作業
9 月 11 日	火	展示替実習（民具マンスリー展示）	
9 月 12 日	水	展示替実習（民具マンスリー展示）	
9 月 13 日	木	展示替実習（ポスター展示作成）	町内施設・史蹟等見学
9 月 14 日	金	展示替実習（ポスター展示作成）	資料館だよりの原稿作成
9 月 15 日	土	資料の修復	企画展示展示替え作業
9 月 28 日	金		展示替実習（ポスター展示・取材対応）

（担当） 北水・富田・久保庭・川邊・國見

■ 研究活動

戦時中の大磯に関する調査

期 日／平成 30 年 4 月 3 日(火)、10 月 19 日(金)、12 月 18 日(火)、平成 31 年 2 月 19 日(火)、3 月 14 日(木)

内 容／平成 27 年に終戦 70 年を迎え、戦争の記録が失われつつある中、大磯の戦時中の状況を把握することを目的として、平成 28 年度から調査を始めた。調査内容は、町内で空襲などの戦争を体験された方に対する聞き取り調査及び町内に築かれた防空壕などの実測調査、その他必要な調査である。本年度は、空襲などの体験に関する聞き取り調査において、2 人の方にご協力いただいた。また、大磯駅裏に所在する特殊地下壕（防空壕）の実測調査を行った。調査にあたっては当館職員の他、市民協力者として、藤野敬子氏、市原誠氏、藤田尚志氏にご協力いただいた。

(担 当) 富田・久保庭

■ 博物館資料の整備

<資料整備委託>

木造神像保存処理委託

業務内容／町指定有形文化財木造神像 11 軀のうち、1 軀について保存処理を行う。

契約期間／平成 30 年 5 月 8 日～令和 2 年 1 月 31 日

請 負 者／光圓美術研究所

動物本剥製作製委託

業務内容／オオバン、カンムリカイツブリ、モズの本剥製を製作した。

契約期間／平成 30 年 5 月 1 日～7 月 31 日

請 負 者／有限会社 尼ヶ崎科学標本社

<展示資料整備>

展示台製作委託

業務内容／企画展示室展示ケース内に設置できる展示台を製作する。

契約期間／平成 30 年 6 月 5 日～9 月 28 日

請 負 者／杉山アート

既存展示台貼り替え委託

業務内容／企画展示室用の展示台の布を貼り替える。

契約期間／平成 31 年 2 月 15 日～3 月 8 日

請 負 者／杉山アート

<歴史資料の整理>

歴史資料については、開館以来、長期にわたって専門の担当者が不在であったこともあり、未整理資料が膨大に収蔵されている現状にある。平成 30 年度から、これらの資料を総括し、段階的に整理することとした。本年度は、次のとおり整理を進めた。

文献資料（古文書等）

・大磯町史編纂時の整理済資料の確認を完了した。

コレクション資料

・次の資料を整理し、管理用の目録を作成した。

資料群名	点数
吉田茂関係資料	3,172
別荘関係資料	253
伊藤博文関係資料	39
城山荘関係資料	167
川瀬竹春関係資料	7
島崎藤村関係資料	130
嶋立庵関係資料	1,753
伊東宗兵衛関係資料	388
高橋誠一郎関係資料	18

美術品

・次の資料を整理し、管理用の目録を作成した。

資料群名	点数
絵画	330
鉄砲刀剣類	40
色紙	20
掛軸	65
彫刻品	9
器類	17
その他貴重資料	7

絵葉書

・大磯に関するもののみ、管理用の目録を整備した。総点数は、900点である。

(担当) 富田・久保庭・飯野・鈴木千・中原・伊藤

■ 刊行物

<図録・冊子>

- ・明治 150 年企画展図録『明治の功労者—湘南社の活動と近代地方行政—』
A 4 判 40 頁 800 部 (平成 30 年 10 月刊)
- ・『Report —大磯町郷土資料館だより』 39
A 4 判 8 頁 800 部 (平成 31 年 3 月刊)
- ・『年報—平成 29 年度—』
A 4 判 48 頁 400 部 (平成 31 年 3 月刊)

<チラシ・パンフレット>

- ・開館 30 周年記念企画展①『大磯町郷土資料館 30 年間の軌跡—大磯町の博物館活動を振り返る—』
チラシ
A 4 判両面 10,000 部 (平成 30 年 4 月刊)
- ・開館 30 周年記念企画展②『O I S O ~ (海+山) ×人~』チラシ
A 4 判両面 10,000 部 (平成 30 年 7 月刊)
- ・明治 150 年企画展『明治の功労者—湘南社の活動と近代地方行政—』チラシ
A 4 判両面 10,000 部 (平成 30 年 9 月刊)

■ 視察・見学対応

<視察・見学の月別件数>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
視 察	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	1	1	6
見 学	1	4	1	2	0	0	1	0	2	3	0	1	15

<視察対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・松田町文化財保護委員会／7月25日／6人／(國見)
- ・国土交通省／2月19日／3人
- ・小田原市郷土文化館／3月28日／3人(國見)

<見学対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・藤沢でんでん虫の会／5月10日／15～16人(鈴木一)
- ・横浜市従業員労働組合／5月12日／25人(國見)
- ・積石塚・渡来人研究会／5月20日／6～7人(國見)
- ・杉並自然観察会／5月25日／15人／(北水)
- ・開成町郷土史会／6月8日／25人／(富田)
- ・厚木北公民館／7月12日／24人／(富田)
- ・湯河原観光ボランティア／12月20日／15人／(川邊)
- ・小金井史談会／12月11日／50～60人／(富田)
- ・きらく会／1月16日／13人／(久保庭)

■ 取材対応

<刊行物>

- ・ 神奈川新聞 平成 30 年 4 月 27 日掲載「開館 30 周年記念企画展<第 1 弾>について」(富田)
- ・ タウンニュース 平成 30 年 7 月 (掲載日未詳)「開館 30 周年記念企画展<第 2 弾>について」(久保庭)
- ・ 湘南リビング 平成 30 年 8 月 25 日掲載「関東大震災について」(富田)
- ・ タウンニュース 平成 30 年 10 月 5 日掲載「学芸員業務を体験」(富田・池田)
- ・ タウンニュース 平成 30 年 10 月 26 日掲載「大磯 明治の功労者」(久保庭)

<テレビ>

- ・ 湘南ケーブルネットワーク『ワイド情報カフェ湘南館 (平成 30 年 5 月 1 日～ 7 日放送)』「開館 30 周年記念企画展<第 1 弾>について」(富田)・NHK『プラタモリ (平成 30 年 10 月 13 日放送)』「# 115 湘南～湘南人気のひみつは“いとしのへり”にあり♪～」(北水)
- ・ TBS『林先生が驚く初耳学! (平成 30 年 8 月 12 日放送)』「湘南の語源について」(富田)

■ ホームページを活用した情報発信

- ・ 平成 29 年度からホームページをリニューアルして運用している。
- ・ twitter 及び facebook のサービスを利用し、情報発信を行った。平成 30 年度からInstagram のサービスも利用し始めた。
- ・ 『Report -大磯町郷土資料館だより』の PDF 版をダウンロードできるようにした。
- ・ 『年報』の PDF 版をダウンロードできるようにした。

■ 博物館資料の収集、整備、利用

<寄贈資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2018-0401	H30.4.1	書籍	2	山川正
2018-0403	H30.4.7	書籍	2	音丸淳
2018-0404	H30.4.10	オヒナサマ	1	渡邊洋子
2018-0405	H30.4.19	吉田茂書扁額	2	近藤直子、池田紀子
2018-0501	H30.5.11	ワイレベル	1	渥美和久
2018-0601	H30.6.10	写真	5	小林佳代子
2018-0603	H30.6.15	人形 他	19	小川芳明
2018-0604	H30.6.22	吉田茂書簡 (額入り)	1	蔵多正温
2018-0605	H30.6.22	書籍『河西豊太郎』	1	河西宏和
2018-0801	H30.8.22	雑誌『リーダーズダイジェスト』 1967 年 6 月号	1	曾田成則
2018-0902	H30.9.11	わきざし 他	8	岩崎千枝子
2018-0903	H30.9.12	生人形	1	三橋浩
2018-1001	H30.10.3	吉田茂関連写真	16	松尾美恵子
2018-1002	H30.10.16	コマ (駒札)	1	高麗山神輿保存会
2018-1002	H30.10.16	ハッピー 他	3	原田勝司
2018-1104	H30.11.14	硯	1	瑞雲書道会
2018-1105	H30.11.16	竹とんぼ	6	齋藤安之助
2018-1107	H30.11.27	写真	一括	山崎朗
2018-1201	H30.12.1	写真	一括	加藤治
2018-1208	H30.12.20	トランク 他	2	光野淳子
2018-1212	H30.12.22	吉田茂関連写真 (ロールスロイス)	7	矢崎孝
2019-0102	H31.1.12	横浜国道工事の図面	1	西山敏夫
2019-0112	H31.1.24	伝楊谷寺仏頭	2	坂本行弘
2019-0113	H31.1.27	吉田茂国葬義記念メダル	1	柳川美代子
2019-0201	H31.2.21	平塚西銀座サービス店チラシ 他	2	木村純子

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2019-0203	H31.2.21	神棚（大神宮） 他	一括	加藤嘉義 （加藤由美子）
2019-0303	H31.3.19	書籍	2	曾田成則

<移管資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2018-0402	H30.4.5	写真（吉田茂）	1	神奈川県県土整備局都市部 都市公園課
2018-0503	H30.5.22	防火服 他	一括	消防総務課
2018-1101	H30.11.9	旧大磯町行政資料	129	総務課
2018-1103	H30.11.14	旧国府村村長肖像写真	9	議会事務局

<購入資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2018-0502	H30.5.15	絵葉書	3	鵜庵 高橋正幸
2018-0602	H30.6.13	絵葉書	5	鵜庵 高橋正幸
2018-0904	H30.9.20	絵葉書	1	鵜庵 高橋正幸
2018-1102	H30.11.12	吉田茂書簡・葉書	3	泰成堂書店
2018-1106	H30.11.20	書幅	1	泰成堂書店
2019-0301	H31.3.1	書籍「神奈川県震災衛生誌」	1	泰成堂書店

<寄託資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2	S63.6.1	山高帽 他	一括	西小磯東区長
5	S63.9.2	四季耕作図 他	11	個人
16	H1.12.9	子ども会旗・七夕資料	一括	西小磯西子ども会
17	H1.8.8	菊池重三郎関係資料	一括	個人
22	H4.4.1	稲荷講資料	一括	個人
23	H4.4.1	雛人形	一括	個人
28	H5.7.22	吉田茂杯 他	5	大磯中学校
30	H6.4.12	掛軸 他	一括	西小磯東区長・西小磯西区長
32	H7.9.12	獅子頭	2(1対)	裡道区長
35	H13.7.17	屏風 他	一括	南本町区長
37	H15.4.1	木造神像群	12	高来神社
39	H21.4.17	扁額 他	1	国府中学校
40	H21.12.24	伊藤博文書幅	1	個人
41	H22.2.1	大久保家資料	一括	個人
43	H23.6.29	掛軸	1	個人
44	H26.8.12	脇差	1	個人
45	H27.3.6	鈴木芳如関係資料	10	個人
46	H27.4.16	画幅「七福神」 他	2	個人
48	H27.8.4	わきざし 他	8	個人
49	H27.8.4	わきざし	1	個人
50	H28.6.29	袖がらみ 他	2	個人
51	H28.4.5	杉戸絵 他	10	(株) 湊泉
52	H28.10.13	国府祭 鷺舞資料	一式	六所神社
53	H29.7.13	城山荘関係資料	57	個人
54	H29.10.26	招仙閣関係資料	26	東光院
55	H29.1.5	日本国憲法草案	2	個人

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
56	H30.9.9	生沢二宮家資料	一括	個人

※寄託期間は最長2年とし、2年以降は更新を行う。現在の寄託期間は、令和2年3月31日まで。

<資料の館外貸出>

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
墨書き土師器杯他 (写真パネル)	9	地区行事	H30.4.8 ～ H30.4.8	守公神社
馬場台遺跡第63地点試掘 調査資料	一括	発掘調査報 告書作成	H30.6.15 ～ H31.3.31	(株)アーク・フィールド ワークシステム
屏風 他	3	祭事	H30.7.12 ～ H30.7.18	個人
獅子頭	2	祭事	H30.7.14 ～ H30.7.15	個人
松本順生人形	1	特別展展示	H30.7.17 ～ H30.10.12	神奈川県立歴史博物館
レーザーディスク	1	メディア変 換	H30.8.28 ～ H30.9.16	大磯町
写真	一括	展示	H30.9.22 ～ H30.10.23	神奈川県立大磯城山公園
堂後下横穴墓群2号墓 直刀【No.56】他	3	資料保存処 理委託	H30.10.3 ～ H31.3.15	(株)東都文化財保存研究所
墨書き土師器杯他 (写真パネル)	9	地区行事	H30.10.7 ～ H30.10.7	守公神社
杉戸絵	4	展示	H30.10.中旬 ～ H30.12.下旬	(株)溪泉
墨書き土師器杯他 (写真パネル)	6	地区行事	H30.10.28 ～ H30.10.28	個人
土質標本43-1～4 他	9	授業	H30.11.15 ～ H30.11.30	大磯町立国府小学校
糸車	1	授業	H30.11.15 ～ H30.11.30	平塚市立みずほ小学校
ナベ 他	22	授業	H31.2.5 ～ 31.2.15	大磯町立大磯小学校
大正4年神奈川県大磯 町詳図 他	1	デジタル化	H31.3.5 ～ 31.3.12	神奈川印刷(株)
馬場台遺跡第63地点試 掘調査資料	一括	発掘調査報 告書作成	H31.4.1 ～ R2.3.31	(株)アーク・フィールド ワークシステム

<資料の特別利用（大磯町郷土資料館）>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
撮影（研究・学術利用）	3	14	2	4	6	2	
撮影（刊行物掲載）	1	1	1	1	0	3	
撮影（放映・動画配信）	0	0	0	0	0	1	
撮影（ウェブ掲載）	1	0	0	2	1	0	
撮影（イベント利用）	0	0	0	0	1	3	
撮影（個人利用）	2	7	2	1	2	3	
データ利用（刊行物掲載）	0	2	2	1	0	0	
データ利用（イベント利用）	0	0	1	1	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
撮影（研究・学術利用）	2	1	0	3	1	1	39
撮影（刊行物掲載）	4	1	2	1	1	2	18
撮影（放映・動画配信）	1	2	0	2	3	0	9
撮影（ウェブ掲載）	0	0	0	0	0	0	4
撮影（イベント利用）	0	0	0	0	0	0	4
撮影（個人利用）	6	6	0	7	3	2	41
データ利用（刊行物掲載）	0	0	0	0	0	0	5
データ利用（イベント利用）	0	0	0	0	0	0	2

■ 文献資料収集状況

<寄贈機関・関係団体リスト一覧>

《県内》

- [大磯町] エリザベス・サンダース・ホーム、澤田美喜記念館、大磯アートハウス、大磯ガイドボランティア協会、大磯太極拳協会、大磯中学校PTA広報委員会、大磯町新たな観光の核づくり推進協議会、大磯町役場、大磯町立図書館、相模国府祭類社会
- [茅ヶ崎市] 茅ヶ崎市教育委員会、茅ヶ崎市文化資料館、四門、茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団
- [秦野市] 秦野市教育委員会、野生動物救護の会
- [藤沢市] 有明文化財研究所、湘南考古学同好会、日本大学生物資源科学部博物館、藤沢市教育委員会、藤沢市藤澤浮世絵館、藤沢市文書館、明治地区郷土づくり推進会議
- [平塚市] 湘南地域行政モニターOB会、平岡学園平岡幼稚園、平塚市教育委員会、平塚市博物館、平塚の空襲と戦災を記録する会、文明開化期の相武地域史研究会
- [二宮町] 戦時下の二宮を記録する会
- [中井町] 中井町生物多様性調査会
- [寒川町] 寒川町教育委員会、寒川町史編集委員会、寒川文書館
- [小田原市] 小田原市教育委員会、小田原市郷土文化館、小田原城総合管理事務所、小田原城天守閣、神奈川県植物誌調査会、神奈川県立生命の星・地球博物館
- [山北町] 山北町地方史研究会
- [横浜市] アーク・フィールドワークシステム、岩崎博物館、馬の博物館、かながわ考古学財団、神奈川県教育委員会、神奈川県博物館協会、神奈川県文化財課、神奈川県民俗芸能保存協会、神奈川県立公文書館、神奈川県立図書館、神奈川県立歴史博物館、神奈川県文学振興会、国際協力機構横浜国際センター海外移住資料館、湘南邸園文化祭連絡協議会、玉川文化財研究所、横浜開港資料館、馬事文化財団、はまぎん産業文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜植物会、横浜都市発展記念館、横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター、横浜市歴史博物館、横浜みなと博物館、横浜ユーラシア文化館
- [川崎市] 川崎市教育委員会、川崎市市民ミュージアム、川崎市立日本民家園
- [鎌倉市] 神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会、鎌倉考古学研究所、鎌倉国宝館、鎌倉市教育委員会、鎌倉文化研究会、鎌倉歴史文化交流館、斉藤建設、鶴岡八幡宮社務所
- [横須賀市] 観音崎自然博物館、横須賀市教育委員会、横須賀市自然・人文博物館
- [逗子市] 逗子市教育委員会
- [葉山町] 葉山しおさい博物館

- [厚木市] あつぎ郷土博物館、厚木市教育委員会、国際文化財株式会社、モリショウ・不動産
- [相模原市] イソビク、古文書を読む会、相模原市、相模原市教育委員会、相模原市立博物館、シン技術コンサル、武相文化財研究所
- [海老名市] 海老名市教育委員会
- [大和市] 大和市教育委員会
- [座間市] 座間市教育委員会
- [清川村] 丹沢自然保護協会
- [真鶴町] 真鶴町立中川一政美術館
- [愛川町] 愛川町教育委員会、愛川町古写真調査会

《県外》

- [茨城県] 稲敷市歴史民俗資料館、上貝塚ふるさと歴史の広場、国立科学博物館標本資料センター、土浦市立博物館
- [栃木県] 小山市立博物館
- [埼玉県] 上里町教育委員会、埼玉県立川の博物館、日高市遺跡調査会、ふじみ野市教育委員会、富士見市立難波田城資料館、三芳町教育委員会、立正大学博物館
- [千葉県] 伊能忠敬記念館、国立歴史民俗博物館、市立市川考古博物館、市立市川歴史博物館、袖ヶ浦市郷土博物館、館山市立博物館、千葉市立加曾利貝塚博物館、千葉県博図公連携事業実行委員会、飛ノ台史跡公園博物館、船橋市郷土資料館、松戸市立博物館
- [東京都] 吾妻考古学研究所、板橋区教育委員会、板橋区立郷土資料館、ウェッジ、大田区立郷土博物館、お札と切手の博物館、お茶の水女子大学、外務省外交史料館、学習院大学、清瀬市郷土博物館、建築資料研究社、駒澤大学禅文化歴史博物館、交通新聞社、国学院大学文学部考古学研究室、国際文化財、国立科学博物館、The Botanical Society of Japan、品川区立品川歴史館、昭和館、J I C A、杉並区立郷土博物館、大成エンジニアリング、多摩市文化振興財団パルテノン多摩、玉川大学、玉川大学教育博物館、調布市郷土博物館、TOKYU ROYAL CLUB、東京家政学院生活文化博物館、東京家政大学博物館、東京都江戸東京博物館、東京農業大学、豊島区立郷土資料館、豊島区立雑司が谷旧宣教師館、日本学術振興会、日本貨幣商協同組合、日本博物館協会、日本ファイリング株式会社、日本野鳥の会、パスコ、日立オートモティブシステムズ株式会社、日野市役所、日野市立新選組のふるさと歴史館、府中市郷土の森博物館、物流博物館、文化庁、法政大学、町田市教育委員会、町田市立自由民権資料館、港区教育委員会、港区立港郷土資料館、明治大学、森ビル株式会社、文部科学省、靖国神社社務所、立正大学ウズベキスタン学術交流プロジェクトニュースレター編集委員会
- [静岡県] 静岡県立美術館、静岡市立登呂博物館、沼津市歴史民俗資料館、三島市郷土資料館、三島地域資料研究会、焼津市歴史民俗資料館
- [愛知県] 安城市歴史博物館、一宮市尾西歴史民俗資料館、知立市史編さん委員会、豊橋市二川宿本陣資料館、豊橋市美術博物館、豊橋市美術博物館友の会
- [山梨県] 環境省自然環境局生物多様性センター、南アルプス市教育委員会
- [群馬県] 渋川市教育委員会
- [福島県] いわき勿来関文学歴史館
- [長野県] 茅野市教育委員会、茅野市美術館、茅野市八ヶ岳総合博物館
- [新潟県] 奥山荘郷土研究会、十日町市博物館、新潟市文化財センター
- [富山県] 高岡商工会議所
- [岐阜県] 藤村記念館
- [三重県] 亀山歴史博物館、鈴鹿市考古博物館
- [和歌山県] 和歌山県立自然博物館、和歌山県立文書館
- [奈良県] 奈良県立大学ユーラシア研究センター事務局、奈良文化財研究所埋蔵文化財センター
- [滋賀県] 草津宿街道交流館
- [大阪府] 大阪市立自然史博物館、富田林市教育委員会、吹田市立博物館
- [兵庫県] 人と防災未来センター
- [広島県] 熊平製作所
- [岡山県] 岡山民俗学会

[山口県]	伊藤公資料館
[高知県]	高知県牧野記念財団
[福岡県]	株式会社ホープ
[長崎県]	西海市
[岩手県]	奥州市牛の博物館
[青森県]	青森県立郷土館
[北海道]	帯広百年記念館、美幌博物館

旧吉田茂邸（郷土資料館別館）学芸活動

■ ミニ企画展

ミニパネル展「白洲次郎と吉田茂」

期 間／平成 30 年 4 月 28 日（土）～ 9 月 30 日（日）

開場日数／ 131 日間

会 場／旧吉田茂邸 展示・休憩室

観覧者数／ 24,052 人

趣 旨／吉田茂の側近として GHQ との交渉を担った白洲次郎に焦点をあて、白洲次郎の生涯と吉田茂との関係、および白洲が関わった日本国憲法の制定とサンフランシスコ講和会議のエピソードを紹介する。

内 容／

(1) 白洲次郎の生涯

白洲次郎の生涯を年表で追うほか、妻である正子についても取り上げる。

(2) 白洲次郎と吉田茂

白洲次郎と吉田茂との出会いについて紹介する。大磯の樺山資紀の別荘に孫である正子と白洲次郎が頻繁に来訪し、吉田茂とも交流を深めたエピソードなどを取り上げる。

(3) 日本国憲法制定とサンフランシスコ講和条約

戦後の占領期に白洲次郎が関わった日本国憲法制定とサンフランシスコ講和条約締結についてのエピソードを紹介する。外務省外交史料館や武相荘に所蔵されている資料についても取り上げる。

(担 当) 久保庭

ミニパネル展・明治 150 年関連企画「大久保利通の系譜—大久保利通・牧野伸顕・吉田茂—」

期 間／平成 30 年 10 月 3 日（水）～ 平成 31 年 3 月 31 日（日）

開場日数／ 145 日間

会 場／旧吉田茂邸 展示・休憩室

観覧者数／ 32,884 人

趣 旨／明治 150 年の関連企画として、大久保利通、利通の次男・牧野伸顕とその娘婿である吉田茂という繋がりから、明治・大正・昭和の時代を振り返る。

内 容／

(1) 大久保利通

大久保利通の事績や大久保から吉田茂に至るまでの大久保家家系図についてみる。また、大久保から牧野伸顕ら子どもたちに送られた書簡を紹介する。

(2) 牧野伸顕

幼少期をアメリカで過ごし、大久保利通亡き後は外務省に入省、のちに文部大臣、内大臣などを歴任する。昭和天皇の信任も厚かった牧野の事績を追う。また、吉田茂と交わした書簡などを展示する。

(3) 吉田茂

大久保と牧野に対する吉田茂の思いについて、吉田茂の回想で語られているものを中心にピックアップする。

(4) 七賢堂

明治の元勳と吉田茂との繋がりという視点から、七賢堂を取り上げる。

(担 当) 久保庭

■ 藤沢市連携事業

<講演会と見学会>

講演会「吉田茂が少年時代に学んだ耕余塾」

開催日／平成30年12月15日(土)
場 所／大磯町郷土資料館 研修室
講 師／細井 守(藤沢市郷土歴史課 職員)
参加人数／11人

見学会「吉田茂が学んだ耕余塾ゆかりの場所を巡ってみませんか」

開催日／平成30年12月15日(土)
場 所／藤沢市明治地区(明治市民センター(明治郷土史料室)集合→汲田墓地→耕余塾跡→御霊神社→旧三觜八郎右衛門家住宅(内部見学)→藤澤浮世絵館
参加人数／8人

<展示>

大磯町出張ミニ展示 明治150年記念企画展「明治の功労者たち—湘南社の活動と近代地方行政」

開催日／平成30年11月28日(水)～平成31年1月23日(水)
場 所／旧三觜八郎右衛門家住宅(羽鳥3-15-5)

藤沢市主催「～明治・大正・昭和～ 吉田茂から三觜家への手紙」パネル展

開催日／平成30年11月24日(土)～平成31年1月23日(水)
場 所／旧三觜八郎右衛門家住宅(羽鳥3-15-5)
内 容／郷土資料館所蔵の写真を展示。また展示資料(吉田茂書簡) 積文作成等の協力。
(担 当) 久保庭

■ 講座

「“吉田茂”を読む」第1回

開催日／平成30年5月12日(土)
場 所／旧吉田茂邸 研修室
講 師／郷土資料館学芸員 久保庭萌
参加人数／5人
趣 旨／吉田茂に関連する図書を会員とともに講読することにより、吉田茂について学び、旧吉田茂邸の活性化を図る。
内 容／第1回は吉田茂『大磯随想・世界と日本』(中央公論新社、2015)のうち、『世界と日本』第三部随想編について取り上げた。参加者には事前にテキストを読んで来ていただき、講師が解説を行ったのち、参加者から自由に感想を述べていただく時間を設けた。テキストの内容を踏まえた質問も多く、活発な議論が行われた。

「“吉田茂”を読む」第2回

開催日／平成30年9月8日(土)
場 所／旧吉田茂邸 研修室
講 師／郷土資料館学芸員 久保庭萌
参加人数／2人
趣 旨／吉田茂に関連する図書を会員とともに講読することにより、吉田茂について学び、旧吉田茂邸の活性化を図る。
内 容／第2回は吉田健一『父のこと』(中公文庫、2017刊)のうち「I 父のこと母のこと」を取り上げた。第1回と同じ方法で、テキストの内容を参加者と談話した。吉田茂や吉田茂の家族に関する質問や感想などが多くござい、少人数ながら活発な会となった。参加者はいずれも旧吉田茂邸に来館したことがなく、来館のきっかけとなった。

「“吉田茂”を読む」第3回

開催日／平成31年2月2日(土)
場 所／旧吉田茂邸 研修室
講 師／郷土資料館学芸員 久保庭萌

参加人数／2人

趣 旨／吉田茂に関連する図書を会員とともに講読することにより、吉田茂について学び、旧吉田茂邸の活性化を図る。

内 容／第3回は吉田健一『父のこと』(中公文庫、2017刊)のうち「Ⅱ 大磯清談」を取り上げた。参加者には事前にテキストを読んで来ていただき、講師が解説を行ったのち、参加者から自由に感想を述べていただく時間を設けた。また、講座ののち邸内の解説を行った。

明治150年記念七賢堂特別開扉講演会

「吉田茂の誕生日に知る大磯の七賢人」

開催日／平成30年9月22日(土)

場 所／県立大磯城山公園旧吉田茂邸地区管理棟

講 師／柴田 紳一 氏(國學院大學文学部准教授)

参加人数／68人

趣 旨／明治150年を記念し、県立大磯城山公園が主催する七賢堂特別開扉及び吉田茂の誕生日にあわせて、七賢堂に関する講演会を開催する。講演会を通じて、七賢堂に祀られている人物への理解を深め、かつ吉田邸と七賢堂の関係についても広く知ってもらうための機会とする。

内 容／七賢堂に祀られている人物、旧吉田茂邸内に七賢堂が移転になった経緯、及び七賢堂祭に関するお話をいただいた。

(担 当) 久保庭



講演会「牧野伸頭とその周辺」

開催日／平成31年3月2日(土)

場 所／旧吉田茂邸 研修室

講 師／松田 好史 氏(霞会館)

参加人数／21人

内 容／平成30年10月3日からミニパネル企画展「大久保利通とその系譜—大久保利通・牧野伸頭・吉田茂」を開催しており、この展示の関連企画として講演会を開催した。先生には、大久保利通と吉田茂をつなぐ人物として牧野伸頭を取り上げていただき、大久保家のことや牧野と吉田との繋がりなどをお話しいただいた。

(担 当) 久保庭



■ 決断に特化した旧吉田茂邸独自イベント

旧吉田茂邸は、博物館として様々な講座や研修などを行うための研修室が設けられ、昨年4月の開館以来、吉田茂元首相や近代史などを学ぶための講座などを開催している。また、日本の戦後復興は東洋の奇跡と呼ばれ、吉田茂元首相は中心人物の一人であり、旧吉田茂邸においても戦後復興に向け様々な決断が行われた場所であることから、「決断の聖地」をキーワードにした就活支援やビジネスパーソン向け研修講座を開催している。吉田茂元首相を学びながら、「決断の聖地」をキーワードにした企業向け研修などへの取組を進め、施設利用の拡充を図る。

商工会共催事業 事業主向け「決断研修」

開催日／平成30年8月30日(木)

場 所／旧吉田茂邸 研修室

講 師／柴田 明彦(大磯町参与(旧吉田茂邸担当))

参加人数／19人

内 容／日々、様々な判断や決断をされている、町内で事業等を営んでいる若手や女性の経営者、起業家等を対象にした研修会。今回の研修会は、本町の取組を広く周知することも目的とし、報道機関等へ公開した。

(担 当) 齋藤

大磯町職員研修(特別研修)

開催日／〔第1回〕平成31年1月16日(水)、〔第2回〕平成31年1月22日(火)

場 所／旧吉田茂邸 研修室

講師／柴田 明彦（大磯町参与（旧吉田茂邸担当））

参加人数／〔第1回〕18人、〔第2回〕14人

内容／幹部候補の職員を対象に、「決断」をテーマに特別研修を実施した。旧吉田茂邸において吉田茂の考え方を学びながら、「決断」をキーワードに日々の業務における実践的な決断力、決断のタイミングの見極め方を習得し、それぞれの現場で役立つことを目的とした。

（担当）齋藤

文化講演会「決断研修講演会」

開催日／平成31年2月24日（日）

場所／旧吉田茂邸 研修室

講師／山野 かおる 氏（櫻和メンタルクリニック院長）

参加人数／37人

内容／大学文学部を卒業後、一般企業勤務を経て、医学部進学を決意し、現在、精神科医としてメンタルクリニックを運営されている先生の歩みについてお話しをうかがう。日々の診療の中で出会う方の「決断」について思うことや参加者の皆さんがこれからの人生で健やかな「決断」をされる一助として、認知行動療法やマインドフルネスの基礎をお聞きし、実践演習を行う。

（担当）齋藤

きわ びと 究め人講演会「魚を究める」

開催日／平成31年3月3日（日）

場所／旧吉田茂邸 研修室

講師／林 公義 氏（横須賀市自然・人文博物館前館長）

参加人数／16人

内容／学芸員、研究員の方々に専門的、学術的な調査、研究内容にとどまらず、それぞれの分野を探究するうえで、得られた人生観をご講話いただく。講話内容については、先生が生物に興味を持たれたきっかけ、魚類研究のおもしろさ、魚類の不思議な生態、調査、研究の苦労話し、先生のこれからの調査、研究活動、これから生物の調査、研究を行う人へのメッセージなど。

（担当）北水

「地上学」からみた大磯の再発見」

開催日／平成31年3月30日（土）

場所／旧吉田茂邸研修室

講師／石川 初 氏（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）

参加人数／18人

内容／慶應義塾大学石川初研究室では、平成29年度に大磯町内において14週間の現地調査を行い、各種計測データに基づくまちづくり・デザインの提案を実施した。大学生・大学院生の調査内容を紹介し、それをもとに「地上学」から見た大磯の再発見についてうかがう。

（担当）川邊

■ 博物館資料の整備

＜収蔵資料整備＞

映像フィルムデジタル化委託

業務内容／財団法人吉田茂国際基金から寄贈された映像16mmフィルム「REPORT TO THE ALUMNI」及び音声6mmオープンリール「Luncheon for H.E. Shigeru Yoshida President of the Society」「自由党大会」の保存処理を行った。

履行期間／平成30年11月27日～平成31年1月31日

請負者／株式会社東京光音

■ 調度品等の整備

＜調度品製作委託＞

旧吉田茂邸調度品製作委託（その1）

業務内容／焼失前の旧吉田茂邸に設置されていた調度品のうち銀の間絨毯1点の製作を行った。

契約期間／平成30年6月29日～平成31年2月28日

請負者／株式会社丹青社

旧吉田茂邸調度品製作委託（その2）

業務内容／焼失前の旧吉田茂邸に設置されていた調度品のうち秋田路の屏風1点、及び吉田茂書掛軸1点（西小磯地区寄託資料）の製作を行った。

契約期間／平成30年6月22日～平成31年2月28日

請負者／ナカシャクリエイティブ株式会社

<映像製作委託>

旧吉田茂邸映像製作委託

業務内容／吉田茂についてドキュメンタリー性の高い映像及び旧吉田茂邸の再建工事、落成記念式典に関する映像を製作した。

契約期間／平成30年6月28日～平成31年1月31日

請負者／毎日映画社株式会社

■ 刊行物

<図録・冊子>

- ・旧吉田茂邸建物概要（第2刷） A4判20頁 2,000部（平成31年2月刊）

<チラシ・パンフレット>

- ・旧吉田茂邸パンフレット A4判両面40,000部（平成30年5月刊）
- ・講演会『吉田茂の誕生日に知る大磯の七賢人』チラシ A4判片面2,000部（平成30年8月刊）
- ・旧吉田茂邸案内チラシ印刷 A4判片面2,000部（平成30年11月刊）
- ・展示解説シート『大磯と吉田茂』 A4判両面10,000部（平成30年12月刊）
- ・展示解説シート『政治家としての吉田茂』 A4判両面10,000部（平成30年12月刊）
- ・展示解説シート『旧吉田茂邸再建事業』 A4判両面10,000部（平成30年12月刊）
- ・旧吉田茂邸パンフレット A4判両面40,000部（平成30年12月刊）
- ・旧吉田茂邸案内チラシ印刷 A4判片面10,000部（平成30年12月刊）
- ・旧吉田茂邸パンフレット A4判両面40,000部（平成31年3月刊）

■ 学校教育の施設利用

<学校教育の施設利用>

	観覧日	学校名	観覧者数
小学校	5月18日	大磯町立国府小学校1年生遠足	114人
	5月25日	大磯町立大磯小学校3年生総合学習「いっぱい知りたい大磯町」	150人
	3月7日	大磯町立国府小学校3年生社会科「変わるわたしたちの暮らし」	108人
中学校	7月31日	大磯町立国府中学校職場体験	132人
	9月14日	大磯町立国府中学校	131人
	11月2日	大磯町立国府中学校1年生総合学習「大磯町を知る」	26人
教員	11月6日	大磯町立大磯中学校1年生総合学習「わが町大磯」	18人

■ 視察・見学対応

<視察・見学の月別件数>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
視察	5	4	1	5	0	4	3	1	5	1	3	4	36
見学	1	1	2	1	0	0	2	3	1	0	0	0	11

<視察対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・外務省／4月3日／4人（國見）
- ・神奈川県湘南地域県政総合センター／4月13日／6人（北水）
- ・外務省・ブータン王国首脳／4月13日／13人（國見）
- ・国土交通省／4月16日／25人（國見）
- ・神奈川県国際文化観光局／4月25日／7人（久保庭）
- ・神奈川県国際文化観光局／5月10日／2人（北水）
- ・自由民主党神奈川県支部連合会 女性局／5月23日
- ・財務省・国土交通省／5月29日／23人（佐川・國見）
- ・神奈川県公園協会／6月15日／10人（佐川）
- ・西湘二宮人権擁護委員協議会平塚地区部会／7月11日
- ・国土交通省／7月20日／10人（國見）
- ・デイトン市／7月25日／15人
- ・国土交通省／7月30日／17人（國見）
- ・1市2町職員交流会／7月26日／（久保庭）
- ・国土交通省／9月6日／7人（國見）
- ・ブラジル連邦共和国大使／9月18日
- ・国土交通省／9月18日
- ・国土交通省／9月28日／8人（國見）
- ・学識会議／10月12日／4人（佐川）
- ・財務省・国土交通省／10月19日／13人
- ・国土交通省／10月23日／14人（國見）
- ・国土交通省・文化庁／11月7日／9人（國見）
- ・内閣官房・国土交通省／12月3日
- ・国土交通省／12月19日／8人（佐川・北水）
- ・神奈川県政策局／12月19日／5人（國見）
- ・神奈川県副知事ほか／12月19日／4人（國見）
- ・神奈川県警察／12月20日／5人（北水）
- ・大磯町副町長ほか／1月29日／3人（佐川）
- ・大磯町長ほか／2月4日／4人
- ・国土交通省／2月19日／3人
- ・国土交通省／2月27日／3人（國見）
- ・旧財団関係者／3月8日／1人（佐川）
- ・小田原市郷土文化館／3月28日／3人（久保庭）
- ・元旧吉田茂邸利活用検討委員会委員長／3月29日／1人（佐川）
- ・津波対策意見交換会／3月19日／3人

<見学対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・横浜市従業員労働組合婦人部／5月12日／25人（國見）
- ・産業能率大学／6月6日／4人（佐川）
- ・産業能率大学／6月13日／2人（佐川）
- ・野木町民生委員／10月19日／29人（川邊）
- ・さんさん会／10月31日／42人（川邊）
- ・湘南三田会／11月14日／14人（久保庭）
- ・産業能率大学／11月16日／2人（佐川）
- ・神奈川県庁地域政策課／11月18日／30人（鈴木千）
- ・日本造園修景協会／12月4日／20人（川邊）

■取材対応

<テレビ>

- ・TBS『報道1930（平成30年11月2日放送）』「旧吉田茂邸の観覧者数」（久保庭）
- ・テレビ東京『なないろ日和！（平成31年1月16日放送）』「旧吉田茂邸の紹介」（富田）

■ 博物館資料の利用

<資料の特別利用（旧吉田茂邸）>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
撮影（研究・学術利用）	0	0	0	0	0	0	
撮影（刊行物掲載）	1	0	0	0	0	0	
撮影（放映・動画配信）	0	0	0	0	1	0	
撮影（ウェブ掲載）	1	1	0	0	0	1	
撮影（イベント利用）	0	0	0	0	0	0	
データ利用（刊行物掲載）	0	1	1	1	2	3	
データ利用（放映）	0	0	0	0	0	1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
撮影（研究・学術利用）	0	0	0	0	0	0	0
撮影（刊行物掲載）	1	0	0	0	0	0	2
撮影（放映・動画配信）	1	0	2	1	1	1	7
撮影（ウェブ掲載）	0	0	0	0	0	0	3
撮影（イベント利用）	0	0	0	0	0	0	0
データ利用（刊行物掲載）	0	1	1	3	2	1	16
データ利用（放映）	0	0	0	0	0	0	1

学芸員の調査、研究、普及活動

<通年の活動>

- ・博物館資料調査／年間／大磯町内外（学芸員全員）
- ・駒澤大学博物館学講座講義／年間／駒澤大学（國見）
- ・東海大学博物館学講座抗議／後期／東海大学（國見）

<庁内事業への協力>

- ・新採用職員研修会講義／4月26日／大磯町保健センター（國見）

<学校教育との連携>

郷土資料館の見学・学習指導

講義名	月日	場所	担当
大磯町立国府小学校1年生遠足	5月18日	郷土資料館	—
大磯町立大磯小学校3年生総合学習 「いっぱい知りたい大磯町」	5月25日	郷土資料館	富田
大磯町立国府中学校職場体験	7月31日	郷土資料館	北水
大磯町立国府中学校	9月14日	旧吉田茂邸	—
大磯町立国府中学校1年生総合学習 「大磯町を知る」	11月2日	郷土資料館・旧吉田茂邸	富田・久保庭
大磯町立大磯中学校1年生総合学習 「わが町大磯」	11月6日	郷土資料館	久保庭・川邊
大磯町立大磯中学校3年生「おおいそ散策」	2月20日	郷土資料館・旧吉田茂邸	—
大磯町立国府小学校3年生社会科 「変わるわたしたちの暮らし」	3月7日	郷土資料館	久保庭・川邊

学校等への講師派遣

講義名	月日	場所	担当
大磯町立大磯小学校3年生総合学習 「もっと知りたい大磯町」	5月15日	大磯小学校	富田
大磯町立国府小学校4年生理科学習 「春の生き物」	5月18日	国府小学校	北水
大磯町立国府小・中学校生沢分校総合学習 「漂着物を使った美術品製作」	5月26日	県立おおいそ学園	北水
大磯町立大磯小学校3年生総合学習 「たくさん知りたい大磯町」	6月5日	大磯小学校	北水

講義名	月日	場所	担当
大磯町立大磯幼稚園「磯あそび」	6月11日	照ヶ崎海岸	北水
大磯町立国府小学校4年生理科学習「夏の生き物」	7月11日	国府小学校	北水
大磯町立国府小学校4年生理科学習「秋の生き物」	11月8日	国府小学校	北水
大磯町立大磯小学校3年生社会科学習「昔の道具とくらし」	2月5日	大磯小学校	富田・川邊
大磯町立国府小学校4年生理科学習「冬の生き物」	2月13日	国府小学校	北水・村田

教員を対象とした講義

講義名	月日	場所	担当
大磯町立学校新採用教職員研修会講義	5月15日	郷土資料館	北水
神奈川県高等学校教科研究会理科部会生物研修委員会主催研修会講義「高麗山の自然について」	5月23日	大磯町生涯学習館他	北水
公立学校教職員社会体験研修	7月25・28・29日	郷土資料館・旧吉田茂邸	北水・富田
平成30年度大磯町教育研究所主催「総合学習に生かせる大磯の自然散策」	8月23日	大磯町国府地区	北水

<各種団体との連携>

郷土資料館における講演・学習指導等

講義名	月日	場所	担当
杉並区自然観察会「大磯町の植生」	5月25日	郷土資料館	北水

各種団体への講師派遣

講義名	月日	場所	担当
平塚市環境政策課子ども環境教室（海岸編）「相模湾の動植物について」	6月2日	平塚市南部福祉会館他	北水
ゆめクラブ東寿会「祭りから見た歴史」	6月29日	東町福祉会館	川邊
神奈川県立公文書館「古文書講座入門編 秋」	9月2日	県立公文書館	富田
にのみや町民大学講座「(防災講座) 二宮・大磯地区の自然災害の歴史から学ぶ」	3月9日	二宮町生涯学習センター	富田

<学会・研究会との連携>

研究会・会議出席等

名称	月日	場所	担当
神奈川県博物館協会	6月2日	平塚市南部福祉会館他	北水
平成30年度第1回役員会・総会・第1回研修会	5月18日	県立歴史博物館	國見
全史料協関東部会平成30年度第1回運営委員会	10月29日	法政大学市ヶ谷キャンパス	富田
第44回全史料協全国大会	11月8・9日	沖縄県市町村自治会	久保庭
平成30年度自然史標本データベース神奈川県委員会会議	11月22日	県立生命の星・地球博物館	國見・北水
第66回全国博物館大会	11月28日	東京文化会館	國見
神奈川県博物館協会平成30年度第2回役員会	12月7日	県立歴史博物館	國見
全史料協関東部会第298回定例研究会「全史料協全国（沖縄）大会参加報告会」	12月20日	川崎市公文書館	久保庭
全史料協関東部会平成30年度第3回運営委員会	2月18日	法政大学市ヶ谷キャンパス	富田
神奈川県博物館協会平成30年度第3回役員会	3月15日	県立歴史博物館	國見

<執筆>

國見 徹

2019. 3. 「開館 30 周年記念企画展開催報告」『Report ー大磯町郷土資料館だより』39 大磯町郷土資料館

北水 慶一

2019. 3. 「開館 30 周年記念企画展開催報告」『Report ー大磯町郷土資料館だより』39 大磯町郷土資料館

富田 三紗子

2018. 4. 「大磯町郷土資料館リニューアルオープン一周年を迎えて」『地方史研究』392 地方史研究協議会
2018. 10. 『明治の功労者ー湘南社の活動と近代地方行政ー』大磯町郷土資料館
2019. 3. 「開館 30 周年記念企画展開催報告」『Report ー大磯町郷土資料館だより』39 大磯町郷土資料館
2019. 3. 「招仙閣とその跡地について」『年報ー平成 29 年度ー』大磯町郷土資料館

久保庭 萌

2018. 10. 『明治の功労者ー湘南社の活動と近代地方行政ー』大磯町郷土資料館

川邊 絢一郎

2018. 12. 「神奈川県中郡大磯町の「高麗の山神輿」」『西郊民俗』第 245 号 西郊民俗談話会
2019. 1. 「「復活」した神事ー伊勢原・高部屋神社の「汐汲み神事」」『民俗』第 246 号 相模民俗学会
2019. 3. 「開館 30 周年記念企画展開催報告」／「民俗マンスリー展示の実施について」／「平成 29 年度春季企画展「ちょっと昔の暮らしと道具」開催報告」『Report ー大磯町郷土資料館だより』39 大磯町郷土資料館

研 究 報 告

大磯地区に於ける本土決戦期の遺構調査Ⅱ 市原 誠 (戦時中の大磯に関する調査市民協力者)

1. はじめに

中郡大磯町東小磯にあるJR大磯駅より北方に位置する丘陵地帯には、第2次世界大戦末期に多くの坑道が構築されたようだ。

先号で掲載した大磯字坂田山付1号壕からほんの僅かな距離の場所に坑道の存在を把握していたため、引き続きその調査結果を報告したい。

尚、立派なコンクリート構造を伴う本壕は大磯町郷土資料館学芸員：富田三紗子氏と協議した上で、二宮町地区での命名事例にならい字名を用いた方が良さだろうとの見解となり、大磯字坂田山付2号壕との名称となった。

本調査については、2018年(平成30年)5月～2019年(令和元年)6月までの期間で、合計7日間に亘って実測作業を主に実施した。

2. 大磯字坂田山付2号壕の考察及び構造

先号でも論じたが、大磯字坂田山付2号壕についても第2次世界大戦末期に旧日本陸軍が本土決戦準備を進めるなか、相模湾正面の対上陸防御の一環として、構築したことは疑いの余地はない。

本壕についても、先号で紹介した大磯字坂田山付1号壕と同様に、横井戸としての側面も覗かせているが、それは戦後の位置付けの可能性が高い。強いていえば当初から、本土決戦のために構築された坑道であることを匂わせる。

戦争末期の本土決戦準備については、各地で進められていたが構築資材不足のため、素掘りのままの箇所が圧倒的に多いのが実情である。ところが、ごく少数であるが優先順位の高い箇所については、コンクリートを用いることも多かったようだ。本土決戦陣地について、優先順位の高い箇所とは砲座や砲銃眼、弾薬庫、司令部などが挙げられるかと考えられる。箇所によっては、一切、コンクリートを用いていない場合もあるが、これは地盤強度や構築資材準備状況が関係したのだろう。状況が許せば、本来であれば全てコンクリート構造が望ましかったことは想像に難しくないことである。

既に承知の事実であるが、1945年(昭和20年)当時、大磯小学校には第140師団歩兵第402連隊が本部を置いていたが、同連隊第3大隊が千畳敷山地区に布陣していたことが明らかとなっており、本壕は砲座などが準備されていないことから、中隊以上の指揮壕だろうと推測する。もちろん既成状態ではない。

余談であるが、歩兵第402連隊本部については、本土決戦が近付いたり、米軍上陸があったりしたと

きも、大磯小学校に留まって指揮を執る訳ではなく、その場合は複郭陣地⁽¹⁾に移ることを想定したことは、いうまでもない。その場所は、千畳敷山の一面に坑道を準備、掘削中だったが終戦を迎え実現はしていない。

本壕については、棲息部も伴っており、通路の数か所には扉を取り付ける構造のような箇所のほか、多数の坑木設置跡、コンクリート構造の通路などが見て取れる。この事実は、かなり重要度の高い箇所であったことが垣間見られるし、きちんとした設計に基づいて構築されていたといえよう。

また、全体的に図2の①から進行したとして上り傾斜となっている通路が確認でき、東側に位置する端の図2の⑦付近に於いては、掘削の折に出た廃土がそのまま残されており、終戦によって作業が頓挫したままであることを物語る。この廃土が残されたままの箇所は、大磯字坂田山付1号壕の出入口付近と近いようだ。つまり、真上付近に大磯字坂田山付1号壕が存在している。

実測調査の結果から判断すると、2つの壕は接合させることを予定していたのだろう。

このような立体的構造は、八丈島や硫黄島における陣地構築でも存在が明らかとなっており、類似したケースである。

本壕の図面GやJ付近より奥の通路は、極度に細くようやく人が通れるくらいである。推測の域は出ないが、拡張掘削も視野に入れていたのだろうと思われる。

参考程度として欲しいのだが、近隣自治体の二宮町地区でも傾斜を伴う坑道の存在が明らかとなっている。この場合は、地上での爆発による爆風が坑道内に入り込まない処置や耐弾層を厚く取るといった意味合いが強いと考えられる。同地区においては、コンクリートが用いられている坑道についての存在は、1割にも満たなかった。坑道の総延長は、まず100mを超える箇所はなかったし、この事実と比較すれば大磯地区の坑道は、群を抜いて巨大だといえよう。

3. 大磯字坂田山付2号壕の変遷

本壕は、先号で述べた大磯字坂田山付1号壕とは異なり、掘削当初から本土決戦のために準備を始めたように思われる。この考えを基にすれば、掘削作業開始は、1945年(昭和20年)春以降となるだろう。

終戦によって掘削作業は放置され、戦後に至っては横井戸として利用されたようだ。図2の①付近の両サイドはブロック塀で補強されている。野菜などを所蔵する倉庫として使われたこともあるかも知れない。

現在は、横井戸として使われていることはないようだが、それでも湧水については不足することはなく、壕内はどこもかしこも湿気が著しい。

今後については、恐らく活用されることは吃度ないに等しく、そのまま放置される宿命にある。もしかしたら入口部だけは、立ち入り出来ないように埋められてしまうのかも知れない。本壕が要因の地盤沈下も気になるところだ。

付近の歴史などについては、富田三紗子氏執筆の「招仙閣とその跡地について」(『年報—平成29年度—』大磯町郷土資料館、2019年)を参照されたい。本壕を語る上で、大いに参考になる。

4. 大磯字坂田山付2号壕の詳細・現状

本壕は、棲息部⁽²⁾を伴っており、この長方形を呈する部屋はいつの時期か不詳ながら激しい崩落に見舞われており、周囲の岩盤が非常にもろく触れただけで崩れ落ちてしまう軟弱さである。崩落については、この箇所を除いては目立つものは見受けられなかった。

総延長は240.4mを数えるが、埋め戻しなどのため踏査不能箇所もあり、本来はそれ以上となる。

そのほかの現状としては、型枠木材、坑木、かすがい、照明器具類がそのまま残されている箇所もあり、戦後74年程度経っても当時の状況を見て取れる。このような資材は、しばしば終戦直後に持ち去られたと伝えられることも多いが、例外もあったのだろう。本壕への人の立ち入り痕については多くを感じなかった。近隣住民も本壕の存在を把握していない場合も多いようで、人知れず残っているような印象である。

坑道内に、共通してしばしば棲息しているゲジやカマドウマなどの不快虫は、大磯字坂田山付1号壕についても同様だったが、何故か確認できなかった。青白い色をしたサワガニはいた。哺乳類の侵入痕跡は確認でき、その糞が所々に落ちていた。

図2の①は、本壕で唯一の出入口となっているが、壕内に入ってみると、両サイドはブロック塀で補強されており、床面はコンクリートで固められてマス状の水溜が見受けられる。この付近の構造は、横井戸としての使用を考慮したものと考えられる。

図2の②付近上部には、当時の照明器具が残されていた。この照明器具は、壕内数か所で確認できた。

図2の③付近から奥に続く通路は、コンクリートで固められ、当時の坑木も残されていた。最も奥側に近づくに連れ、壕内最大の水没部が認められる。水没の深さは、雨量によっても異なるだろうが40cmほどになる。

図2の④付近から奥は、上り傾斜になっており

湧水も著しく、さして変化のない細い通路が続く。

図2の⑤付近については、地上へと続く出入口だったようで、戦後に煉瓦やコンクリートで進入できないように埋められたようだ。この辺りに関しては湧水がなかった。

図2の⑥近辺も上り傾斜になっており、大磯字坂田山付1号壕と接合させる処置のためか、所々、コンクリート構造となっていた。付近は、本壕最大級の湧水が見て取れ、常に天井から大雨が降っているような印象である。

図2の⑦は、コンクリート構造が確認できるが、非常に狭い通路となっている。この辺りも上り傾斜になっているが、掘削によって出た廃土がそのまま残されていた。恐らく、掘削中に終戦を迎え従事していた兵士は、力が抜けて片付ける気力さえもなくしてしまったのだろう。

この廃土のために、通路が狭くなっていると思われる。

5. おわりに

起伏が激しく奥の深い大磯丘陵は、多くの坑道が準備されたことだろう。そのほとんどは、公には未確認であり調査も行なわれていない。そのような箇所が沢山、人知れず眠っている。

今後、少しずつではあるが、これらを掘り起こして調査していきたい。時間と紙面が許す限り、次号以降でも発表し続けていくことを考えている。

謝辞

本稿の実測調査にあたって、藤田尚志氏、鈴木一男氏、富田三紗子氏、久保庭萌氏、伊藤匠氏に、ご協力頂き、記して感謝申し上げます。

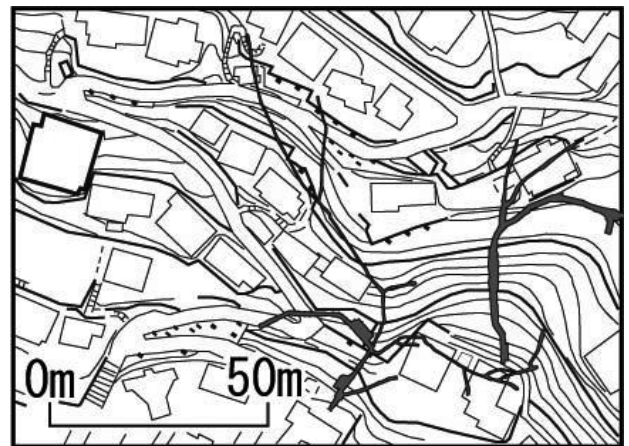


図1 大磯字坂田山付2号壕 位置



写真1 図2-① 本塚の出入口
2019.5.14 撮影



写真2 図2-②付近 残された照明器具
2019.6.18 撮影



写真3 図2-③付近 コンクリート構造通路
2019.6.18 撮影



写真4 図2-④付近 細い馬蹄形通路
2019.6.18 撮影



写真5 図2-⑤ 埋め戻された通路
2019.6.18 撮影



写真6 図2-⑥付近 コンクリート構造の通路
2019.6.18 撮影



写真7 図2-⑦付近 狭いコンクリート通路
2019.6.18 撮影

主要参考文献

- ・富田三紗子「招仙閣とその跡地について」(『年報—平成29年度—』大磯町郷土資料館、2019年)
- ・市原誠「大磯地区に於ける本土決戦期の遺構調査」(『年報—平成29年度—』大磯町郷土資料館、2019年)
- ・清水孝⁽³⁾(『第100師団(鉄兵団)士官候補生・第140師団(護東兵団)新品少尉相集い共に大いに語らん哉』2000年)

注

- (1) 「ふっかくじんち」・最も重要である複郭は、囲郭陥落後も最後の抵抗を行う陣地である。司令部クラスなど重要な陣地を指すことが多い。
- (2) 「せいそくぶ」・兵士が待機したりする区画。陣地の中枢になり得る部屋。
- (3) 1925年(大正14年)7月4日生。陸士58期。陸軍少尉。終戦時は、大磯西小磯海岸布陣。2012年(平成24年)3月6日逝去。享年86歳。筆者がもつとも、ご教示を頂いた方の1人である。生前の氏の強い意向で、筆者に散骨するよういわれており、その遺言を受け入れた。遺言通りに某所に散骨を果たす。

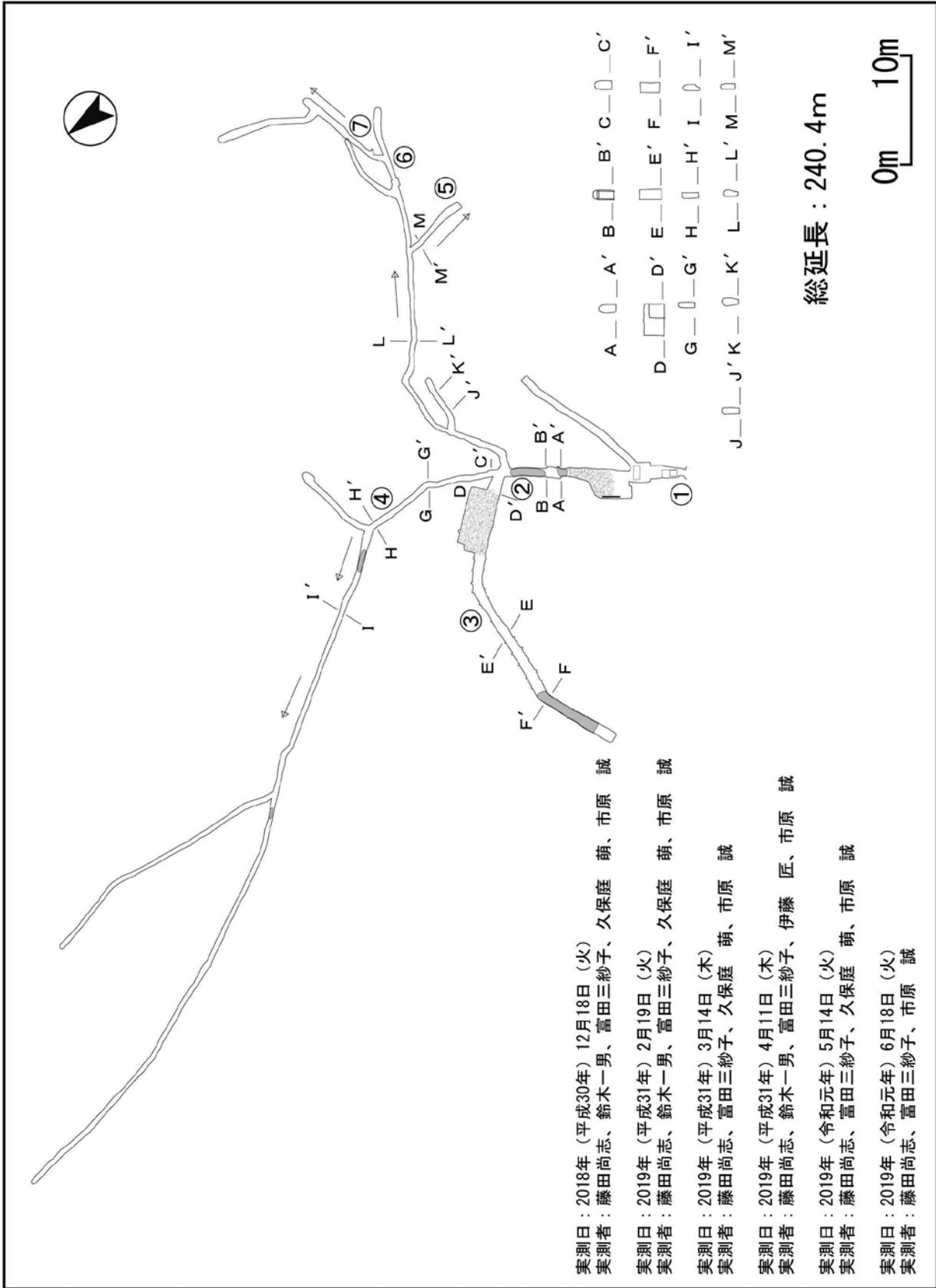


図2 大磯字坂田山付2号壕 実測図

「ワークショップ・石仏クラブ」 調査報告 — 旧国府町地域の石造物

川邊 絢一郎
(当館学芸員)

1. 概要

本稿は、平成 29 年から平成 31 年にかけて大磯町郷土資料館(以下、当館)で実施した「ワークショップ・石仏クラブ」(以下、石仏クラブ)による大磯町内の石造物調査の報告である。

石仏クラブは、平成 24 年に当館の学級・講座のひとつとしてスタートした。昭和 58 年から平成 7 年にかけて行われた石造物の悉皆調査を補完するとともに、現在の石造物の現状を把握する目的でスタートした。平成 19 年度末から行われた調査(第 1 期調査:調査結果は保坂 2013 や川邊 2018 で紹介)は、旧大磯町域での調査を終えて休止した。その後、平成 29 年 11 月に調査を再開し(第 2 期調査)、旧国府町域の一部を調査し、平成 31 年 3 月に再び活動を中止した。なお、第 2 期調査の事務局は筆者が行った。

本稿では第 2 期調査の結果を報告するとともに、石仏クラブの会員と協働して調査を実施した際の課題について述べる。

2. 旧国府町地域の石造物と概要

昭和 58 年から平成 7 年にかけて行われた大磯町の石造物悉皆調査の結果によれば、国府地区では 513 基の石造物が記録され、その結果については、『石造物調査報告書』第 5・6・7 集で報告されている。

第 2 期の石仏クラブでは、『報告書』第 5・6 集に掲載されている地域を調査した。字名では、旧国府町域で国府本郷・国府新宿・月京・生沢・寺坂の各地区を調査したことになる。

本稿では、新しく記録した石造物 67 基について報告する。石造物の通し番号については、先の報告(川邊前掲書)と同じく、『報告書』記載の番号を引き継いで番号を振った。調査対象についても同様に、『報告書』では記録されなかったコンクリート製の石造物についても記録を行った。

3. 記録の概要

国府本郷(中丸)が 24 基、国府本郷(馬場)が 16 基、国府新宿が 3 基、月京が 3 基、生沢が 15 基、寺坂が 5 基となっている。

今回の調査では、記念碑についても記録作成の対象にしているため、県立大磯城山公園が含まれている国府本郷(中丸)の記録が多くなっている。公園に関する記念碑を除けば、城山公園旧三井別邸地

区内では、三井家が土地を所有していた時代に作られた橋の橋脚礎石(No562～569)が見つかった。また、旧吉田茂邸地区では、松本順に医学を学んだ橋本綱常の名が見える境界石(No580～582)を記録している。第 1 期調査においても、三井家や伊達家の境界石が発見されている。近代の別荘地に関する石造物が多く見つかるのは、大磯の特徴なのではなかろうか。

その他の記録については、その多くが寺社における記録となっている。寺社における記録は、『報告書』時点での調査の記録漏れもあるだろうが、新たに建立されたものを記録したものが多い。たとえば、六所神社や寶積院、蓮花院、東昌寺などで、『報告書』の調査以後に建立された石造物を多く記録している。この傾向は旧大磯町地域での傾向と同様である。

4. 大磯町における石造物調査の課題

第 2 期の調査を通じて、石造物調査について、いくつかの課題が見つかった。石造物調査の課題と方針とを示すことで、報告のまとめに代えたい。

まず、個人が所有する石造物に関する課題である。個人が屋敷のなかに所有している石造物について、『報告書』では年代・記銘等のあるもののみ記録している。今回の調査は、『報告書』に記載のある石造物を確認しながら、新たな石造物の記録を作成していったが、個人宅の石造物については、協力を得られずに所在を確認できないこともしばしばあった。調査をコーディネートした筆者の力量不足でもあるが、『報告書』の発行から約 30 年の月日を経て、人々の意識が移り変わっていると感じた。上述のとおり、個人宅の石造物についてはすべてが記録されている訳ではない。地道に地域の人々の協力を得ながら、調査を進めていく必要があるだろう。

次に、信仰に関する石造物の課題である。第 1 期・第 2 期の調査ともに、採寸をし、写真を撮り、石造物の記録を作成している一方で、それらの石造物がなぜ建立されたのか、なぜその場所にあるのか、どのような信仰があるのかについては、ほとんど明らかにすることができなかった。

石造物という有形の民俗資料には、何らかの無形の民俗が結びついている。特に信仰に関する石造物については、その傾向が顕著である。たとえば、とある個人宅の馬頭観音については、次のような話を聞くことができた。

「昔、馬を飼っていたため、馬のお墓や供養碑だと言っている。オバアサン(明治 22 年生まれ)からは、以前、馬が犠牲になった時に建てたものだと言っている。灰を入れたカマス(吠)を馬小屋の屋

根に上げたところ、小屋が火事になり馬が二頭犠牲になった。その供養のために馬頭観音を祀った。この馬頭観音を移動させる時に、オトウサン（注：話者の夫）が酔っ払って移した。その日の夜中、畳を引っかき回した。オバアサンが塩と酒とでお清めをして、ようやく収まった。今は初稲荷に幟旗を立てたり、変わったご飯（注：お赤飯など）を作った時にはお供えしたりするようにしている（昭和21年生まれ・女性）。

モノ（有形の民俗資料）としての石造物に関する記録とあわせて、モノを支えているコト（無形の民俗資料）にも、今以上に注目し、採集していく必要があるだろう。

また、石造物調査と博物館活動の関わりに関する課題である。当館を含めた博物館等の施設では、モノを収集し、整理・保管し、調査研究を行い、展示などの教育普及活動によって、その成果を地域に還元している。民俗分野では、いわゆる民具（私たちの身の回りの生活の道具）を、博物館資料として収集している。ただし、民俗分野が対象とする資料は民具だけではない。祭礼や民俗芸能などの無形の民俗資料はもちろん、本稿で対象としたような地域にある石造物も、民俗分野では対象としている。モノとして収集できない資料を博物館において活用できるようにするためには、石仏クラブが実施してきたような、地道な調査とその結果の取りまとめが必要である。地域にあるモノを調査活動によって資料にまとめて、はじめて博物館活動において活用できる状態になる。

当館においては、石仏クラブによる調査の結果を展示に活用した。ミニ企画展「石仏クラブ 平成29年度の活動報告」と題して、平成30年3月2日から4月27日の期間でパネル展示を実施した。地域にあるモノやコトを利用可能な形に資源化し、その資源を活用することまで視野に入れた活動を、今後も継続していく必要がある。

最後に、第1期調査では旧大磯町域全体を調査し、第2期調査では国府本郷・国府新宿・月京・生沢・寺坂地区を調査した。『報告書』第7集に記載されている、虫窪・黒岩・西久保・石神台地区は、再調査が行われていない。今後、第3期調査で石造物の現状を明らかにする必要があるだろう。

謝辞

末筆ではありますが、第2期の石仏クラブの調査に参加していただいた皆様（高橋清氏、玉虫志保実氏、西方太助氏、福島睦恵氏、福島康枝氏、中後乗雄氏、吉川武士氏、若栗尊子氏）と調査にご協力いただいた旧国府町地区の皆様にお礼申し上げます。

す。

参考文献

川邊絢一郎（2018）『『ワークショップ・石仏クラブ』調査報告―旧大磯町地域の石造物』、大磯町郷土資料館（編）『年報 平成28年度』p31～37
保坂匠（2013）『大磯石仏クラブ活動報告』、大磯町郷土資料館（編）『Report 大磯町郷土資料館だより 33』p2～3

表 旧国府町域の石造物（追加分）

通し番号	名称	地区	所在地	年代	銘文	総高 (cm)	総幅 (cm)	総厚 (cm)
562	橋脚礎石	国府本郷 (中丸)	城山公園	不明	なし	65.0	60.0	—
563	橋脚礎石	国府本郷 (中丸)	城山公園	不明	なし	65.0	80.0	—
564	橋脚礎石	国府本郷 (中丸)	城山公園	不明	なし	60.0	60.0	—
565	橋脚礎石	国府本郷 (中丸)	城山公園	不明	なし	60.0	60.0	—
566	橋脚礎石	国府本郷 (中丸)	城山公園	不明	なし	60.0	65.0	—
567	橋脚礎石	国府本郷 (中丸)	城山公園	不明	なし	55.0	65.0	—
568	橋脚礎石	国府本郷 (中丸)	城山公園	不明	なし	120.0	53.0	—
569	橋脚礎石	国府本郷 (中丸)	城山公園	不明	なし	110.0	50.0	—
570	記念碑	国府本郷 (中丸)	城山公園	平成5年 (1993)	(プレートに記銘) かながわの公園50選／大磯城山公園／平成4年5月選定／平成5年度 寄贈 (財) 神奈川県公園協会	107.0	80.0	—
571	記念碑	国府本郷 (中丸)	城山公園	平成16年 (2004)	(プレートに記銘) 関東の富士見100景／富士山の見えるまちづくり／地点名 県立大磯城山公園／平成16年11月／国土交通省関東地方整備局／寄贈 (社) 関東建設経済会	78.0	18.0	—
572	記念碑	国府本郷 (中丸)	城山公園	平成18年 (2006)	(プレートに記銘) 日本の歴史公園百選／大磯城山公園／平成十八年十月二十七日／都市公園法施行五十周年等記念石／記念事業実行委員会	50.0	78.0	—
573	地藏菩薩	国府本郷 (中丸)	西長院	不明	なし	56.0	28.0	17.0
574	地藏菩薩	国府本郷 (中丸)	西長院	不明	なし	47.0	18.5	10.0
575	地藏菩薩	国府本郷 (中丸)	西長院	不明	なし	37.0	21.0	10.0
576	手水鉢	国府本郷 (中丸)	旧吉田茂邸	不明	なし	85.0	60.0	—
577	手水鉢	国府本郷 (中丸)	旧吉田茂邸	不明	なし	52.0	142.0	—
578	馬頭観世音	国府本郷 (中丸)	旧吉田茂邸	不明	馬頭観世音	30.0	13.0	10.0
579	石灯笼	国府本郷 (中丸)	旧吉田茂邸	不明	なし	200.0	40.0	—
580	境界石	国府本郷 (中丸)	旧吉田茂邸	不明	□□ (橋本力) 常綱／□□	40.0	17.0	14.0
581	境界石	国府本郷 (中丸)	旧吉田茂邸	不明	橋本常綱所有地	42.0	17.0	14.0
582	境界石 (か)	国府本郷 (中丸)	旧吉田茂邸	不明	なし	35.0	12.5	—

通し番号	名称	地区	所在地	年代	銘文	総高 (cm)	総幅 (cm)	総厚 (cm)
583	地藏菩薩	国府本郷 (中丸)	寶前院	不明	なし	70.0	15.0	25.0
584	地藏菩薩	国府本郷 (中丸)	寶前院	不明	なし	61.0	30.0	25.0
585	地藏菩薩	国府本郷 (中丸)	寶前院	不明	なし	51.0	24.0	25.0
586	線香立	国府本郷 (馬場)	個人宅	天保14年 (1843)	天保十四年／卯二月吉日／清水／ 玉府新宿／施主 新右門	13.0	24.0	15.5
587	供養塔	国府本郷 (馬場)	新勝寺	平成28年 (2016)	(表面) ペット供養塔 (裏面) 平 成二十八年六月吉日	132.0	92.0	91.0
588	御両大明神	国府本郷 (馬場)	個人宅	平成15年 (2003)	(表面) 御両大明神 (裏面) 平成 十五年四月吉日／施主 中村任	108.5	63.0	45.0
589	鳥居	国府本郷 (馬場)	八坂神社	昭和55年 (1980)	(左側柱下部) 昭和五十五年四月 吉日建立氏子中			
590	供養塔	国府本郷 (馬場)	六所神社	不明	牛豚供養塔	41.0	22.5	14.0
591	小祠	国府本郷 (馬場)	六所神社	安政5年 (1858)	(右側面) 安政五年九月吉日 (左 側面) 茨田吉左門	52.0	37.0	25.0
592	水神社	国府本郷 (馬場)	六所神社	昭和28年 (1953)	(左側面) 昭和28年	123.0	66.0	77.0
593	小祠	国府本郷 (馬場)	六所神社	不明	なし	90.0	70.0	80.0
594	神号塔	国府本郷 (馬場)	六所神社	平成19年 (2007)	(表面) 六所ひぐるま弁天社 (裏面) 六所ひぐるま弁天社竣工記念／宮 司柳田直継／宮総代大竹健一／宮 総代蓑島保史／宮総代小島康次／ 氏子総代依田勝也／氏子総代三浦 喜代治／氏子総代志澤每彦／欄宜 柳田斎継／権欄宜岩見紀孝／権欄 宜佐藤史人／竣工平成十九年六月 吉日	155.0	42.5	30.0
595	弁天社	国府本郷 (馬場)	六所神社	平成19年 (2007)		152.0	97.0	108.0
596	神号塔	国府本郷 (馬場)	六所神社	平成24年 (2012)	(表面) 龍神大神社 (裏面) 平成 二十四年／十二月吉日／柳田直継	105.0	20.0	9.0
597	龍神大神社	国府本郷 (馬場)	六所神社	平成24年 (2012)		91.0	65.0	80.0
598	石灯笼	国府本郷 (馬場)	六所神社	不明		140.0	145.0	70.0

通し番号	名称	地区	所在地	年代	銘文	総高 (cm)	総幅 (cm)	総厚 (cm)
599	大日如来	国府本郷 (馬場)	寶積院	平成 28 年 (2016)	(表面) ア (梵字) (裏面) 為 先 祖代々菩提/併/圓明院慈苑雅真 大姉/供養/平成二十八年十二月 吉日/施主 袋島 敏明	240.0	106.0	
600	石灯笼	国府本郷 (馬場)	寶積院	不明		270.0	75.0	75.0
601	弘法大師像	国府本郷 (馬場)	寶積院	平成 16 年 (2004)		168.0	55.0	62.0
602	神使 (狐)	国府新宿	国府新宿福祉 館	平成 4 年 (1992)	(表) 奉もしくは献	121.0	39.5	24.5
603	稻荷社	国府新宿	国府新宿福祉 館	平成 4 年 (1992)	(裏) 竣工落成/平成 4 年七月吉 日/木之下町内一同 (鳥居柱) 寄 贈/平成四年/七月吉日/吉川一 郎	146.5	70.0	90.0
604	院宇塔	国府新宿	蓮花院	平成 18 年 (2006)	(正面) 真言蓮花院 (左側面) 152.0 相模新西国第五番観音霊場/ちか ひてし手にもつ法の蓮花院/心乃 花もひらけ日もよし (裏面) 奉建 之/平成十八年三月十六日/第 二十七世/平成中興/定額位 権 大僧正 湯口敏昭	152.0	52.0	52.0
605	神宇塔	国府新宿	蓮花院	平成 16 年 (2004)	(正面) 日吉山王大権現 (右側面) 149.0 略称 日吉山王社 (左側面) 本地 仏 阿弥陀如来/祭神/大山咋神 /木花開耶姫命 (裏面) 奉建立 平成十六年六月十五日/日吉山蓮 花院/定額位 権大僧正 湯口敏 昭	149.0	49.0	49.0
606	二宮尊徳像台座	月京	国府小学校	昭和 11 年 (1936)	コンクリート製 記銘のみ石材 (正面上部) 二宮尊徳先生幼時之 像 (正面下部) 至誠報徳 (裏面) 昭和十一年七月二十三日/國 (以 下剥落) /児童 (以下剥落) /二 宮尊徳翁生誕百五十 (以下剥落)	86.0	65.0	65.0

通し番号	名称	地区	所在地	年代	銘文	総高 (cm)	総幅 (cm)	総厚 (cm)
607	記念碑	月京	国府小学校	昭和48年 (1973)	開校100周年記念 1973.11.17. ／教育資料保存庫／カプセル開封 2023.4.4.／大磯町立国府小学校	3.7	75.0	25.0
608	記念碑	月京	国府小学校	平成11年 (1999)	国府小学校PTA／50周年記念／ ～自然園～／平成11年度	不明	50.0	33.0
609	記念碑	生沢	東昌寺駐車場	平成13年 (2001)	唐山駐車場整備工事竣工／維持平 成十三年五月吉日／施主 檀徒一 同／当山廿一世 太忍憲章代／設 計施工 蒔田建設	55.0	58.5	44.5
610	門柱	生沢	東昌寺	不明	コンクリート製 記銘のみ石材 再建時に移植したもののか。(左) 昭和二十九年十月吉日建立／寄進 竹内修一郎 (右) 西山浪義謹製	186.0	71.0	45.0
611	石灯籠	生沢	東昌寺	平成16年 (2004)	(左表面) 献 (左裏面) 為竹内家 先祖代々精霊供養 (右表面) 燈 (右 裏面) 為和教院厚峰秦寛居士菩提 ／施主 竹内松江	450.0	170.0	170.0
612	天水桶	生沢	東昌寺	平成19年 (2007)	(裏面) 平成十九年二月／為 杏 林院達翁博雅居士／施主 松橋 光子	151.0	121.0	121.0

通し番号	名称	地区	所在地	年代	銘文	総高 (cm)	総幅 (cm)	総厚 (cm)
613	記念碑	生沢	東昌寺	平成14年 (2002)	(表面) 東昌寺墓地駐車場記念碑 ／昭和二十年八月我が国は大東亜 戦争の敗戦により米軍の占領／下 置かれ農地解放が行われた。当 山に於いても対象となった。／本 堂前二筆の農地(一、四〇〇平方 米 四二〇坪)について時の総代 ／高島光太郎は寺の為に残さんと 思惟し、登記名義人を役員に／依 頼することにより東昌寺に所有権 を留保したのである。／その後半 廿紀を経て高島健二総代となり父 の遺志檀徒の悲願であった当山へ の所有権回復を決意し実現し得 た。当山□□／各位の協力と仏天 の加護によるものであることを痛 感するのである。／茲に墓地造成 の実現と駐車場整備とを記念して 碑を建て由来を後世に／伝えんと 共に父母の五十回忌法要を行い靈 前に報告する次第である。(裏面) 維時当山二十一世大忍憲章代／平 成十四年九月吉日／施主 高島健 二／「東昌寺檀徒總代／第四代大 磯町長」／本事業の施工者は次の 方々であり碑面にその名を刻し労 を多とする／墓地造成 有限会社 白井石材工業所／駐車場整備 二 宮園芸株式会社／有限会社蒔田建 設	150.0	152.0	83.0
614	稻荷社	生沢	個人宅敷地内	昭和2年 (1927)	(左側面) 昭和二年十一月八日／ 二宮一蔵立之	62.0	30.0	25.0
615	鳥居	生沢	個人宅敷地内	不明		350.0	283.0	

通し番号	名称	地区	所在地	年代	銘文	総高 (cm)	総幅 (cm)	総厚 (cm)
616	エビス	生沢	個人宅敷地内	不明		20.0	11.0	8.0
617	ダイコク	生沢	個人宅敷地内	不明		20.0	12.0	8.0
618	馬頭観世音菩薩	生沢	路傍	平成6年 (1994)	(表面) 馬頭観世音菩薩(裏面) 平成六年一月吉日建之/施主岩崎 吉四郎	50.0	32.0	27.0
619	小坊主像	生沢	観音寺	平成14年 (2002)	(裏面) 平成14年11月吉日/福 島得男	120.0	65.0	65.0
620	小坊主像	生沢	観音寺	不明		120.0	65.0	65.0
621	無縁塔	生沢	観音寺	不明	胎蔵界大日如来坐像/梵字(ア一 ンク)	90.0	30.0	30.0
622	道標	生沢	鷹取山	不明	関東ふれあいの道/下大槻 月宮 /6.1KM 2.8KM	20.0	60.0	55.0
623	三角点	生沢	鷹取山	不明	三等/三角点	20.0	15.0	15.0
624	幟立て	寺坂	八坂神社参道	昭和34年 (1959)	(表面) 奉(裏面) 昭和三十七年 四月建之	162.0	43.0	15.0
625	幟立て	寺坂	八坂神社参道	昭和34年 (1959)	(表面) 納	120.0	42.0	15.0
626	仏塔	寺坂	王福寺	平成10年 (1998)	(裏面) 慈修院松道居士/慈恩院 楽初大姉/平成十年七月吉日/施 主杉崎英雄建之	500.0	90.0	
627	天水桶	寺坂	王福寺	平成18年 (2006)	(裏面) 平成18年10月吉日修復 /施主 杉崎節子	92.0	155.0	155.0
628	ペット供養塔	寺坂	王福寺		(表面) ペット供養塔	132.0	152.0	137.0

年 報

平成 30 年度

◇ 令和元年 8 月 30 日発行

◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒 255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463(61)4700 FAX 0463(61)4660